

(様式第 9)

阪医病総第 87 号
平成 21 年 10 月 27 日

厚生労働大臣

殿

大阪大学医学部附属病院長
林 紀

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	112.5 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	385 人	402 人	663.4 人	看護業務補助	11.2 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	0 人	0 人	0 人	理学療法士	8 人	臨床検査技師	72.5 人
薬剤師	46 人	12 人	54.7 人	作業療法士	3 人	衛生検査技師	5 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	13.1 人	その他	0 人
助産師	28 人	0 人	28.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	817 人	17 人	829.7 人	臨床工学技士	14 人	医療社会事業従事者	4 人
准看護師	5 人	0 人	5.0 人	栄養士	0 人	その他の技術員	7.5 人
歯科衛生士	0 人	1 人	0.7 人	歯科技工士	0 人	事務職員	173.5 人
管理栄養士	6 人	0 人	6.0 人	診療放射線技師	53 人	その他の職員	41 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	875.9 人	0 人	875.9 人
1日当たり平均外来患者数	2540.8 人	5.5 人	2546.3 人
1日当たり平均調剤数	外来 105.3	入院 998.7	合計 1104 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノーゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD—DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV—DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒痕、險球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒痕その他の重症の癒痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	4人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	80人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの (後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)) に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。)) のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの) に限り、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時に限り。)) の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの) に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	1人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん) に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	4人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	200人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	63人	・ウェゲナー肉芽腫症	8人
・重症筋無力症	174人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	155人
・全身性エリテマトーデス	417人	・多系統萎縮症	37人
・スモン	12人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	25人
・再生不良性貧血	72人	・膿疱性乾癬	10人
・サルコイドーシス	95人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・筋萎縮性側索硬化症	37人	・原発性胆汁性肝硬変	53人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	276人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	134人	・特発性大腿骨頭壊死症	74人
・結節性動脈周囲炎	32人	・混合性結合組織病	71人
・潰瘍性大腸炎	160人	・原発性免疫不全症候群	18人
・大動脈炎症候群	75人	・特発性間質性肺炎	21人
・ビュルガー病	38人	・網膜色素変性症	92人
・天疱瘡	42人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	72人	・原発性肺高血圧症	21人
・クローン病	119人	・神経線維腫症	42人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	25人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・パーキンソン病関連疾患	251人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	33人
・後縦靭帯骨化症	88人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	2人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	3回/月	
剖検の状況	剖検症例数 36 例	剖検率 11.1 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心不全における心筋細胞死の分子機構の 解明と臨床への応用	大津 欣也	循環器内科	8,840,000	補委 日本学術振興会
遺伝子多型を用いた心筋梗塞治療の個別 化法の開発	佐藤 洋	循環器内科	4,940,000	補委 日本学術振興会
心筋細胞の非分裂性を規定する因子の同 定・機能解析と治療への応用に向けた基 盤研究	高島 成二	循環器内科	9,230,000	補委 日本学術振興会
アディポネクチンによるHDL新生と脂 質排泄促進を介した粥状動脈硬化防御の 分子機構	山下 静也	循環器内科	7,020,000	補委 日本学術振興会
超音波法を用いた新しい拡張機能評価法 の確立	坂田 泰史	循環器内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
心血管リモデリングにおける小胞体-ユ ビキチン・プロテアソーム系の役割の解 明	南野 哲男	循環器内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
心筋梗塞発症関連遺伝子リンホトキシ ン α による細胞接着制御機構の解明	坂田 泰彦	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
心筋-内皮組織間のパラクラインシグ ナルネットワークと心不全	中岡 良和	循環器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
心不全進展におけるオートファジー制御 機構の解明と治療への応用	山口 修	循環器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
組織工学による人工血管の生体内イメ ージングによる自己組織化機序の検討	小谷 順一	循環器内科	2,340,000	補委 日本学術振興会
肺高血圧の病態におけるAngiopo ietin-1/Tie2シグナルの役 割解明	黒田 忠	循環器内科	2,600,000	補委 文部科学省
敗血症下のマウス粘膜免疫応答の解析、 遺伝子治療の導入	大橋 祥文	循環器内科	2,340,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しい概念（エピジェネティクス）を応用した難治性心不全発症分子メカニズムの解明	高島 成二	循環器内科	3,200,000	補委 日本学術振興会
ナノサイズリポソームを用いた急性心筋梗塞治療法の開発	南野 哲男	循環器内科	56,899,000	補委 厚生労働省
心不全発症予防を目指した新規サイトカイン療法の確立	中岡 良和	循環器内科	3,000,000	補委 (財)千里ライフサイエンス振興財団
循環器系シグナローム解析による疾患・病態解明のための基盤研究	大津 欣也	循環器内科	2,000,000	補委 国立循環器病センター
IgA腎症患者の扁桃における遺伝子発現	今井 圓裕	腎臓内科	2,470,000	補委 日本学術振興会
C型肝炎における自然免疫の統合解析と新規免疫治療法の開発	林 紀夫	消化器内科	16,120,000	補委 日本学術振興会
肝癌におけるNKレセプターとそのリガンドの発現制御機構の解明と新規治療法の開発	竹原 徹郎	消化器内科	6,500,000	補委 日本学術振興会
炎症性腸疾患における免疫寛容破綻の分子機序の解明および新規遺伝子治療法の開発	飯島 英樹	消化器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
腫瘍免疫・血管新生からみた大腸癌化学療法抗腫瘍活性増強に関わる標的分子の探索	辻井 正彦	消化器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
樹状細胞を介した統合的免疫制御によるC型肝炎・肝癌治療法の開発	考藤 達哉	消化器内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
ナノテクノロジーを用いた樹状細胞活性化機構の解析と肝癌免疫治療	巽 智秀	消化器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
肝再生不全における低アディポネクチン血症の意義に関する研究	木曾 真一	消化器内科	1,170,000	補委 日本学術振興会
消化管運動におけるカハール介在細胞の関与ー2型糖尿病における病的意義	筒井 秀作	消化器内科	2,210,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝癌発症進展過程における低アディポネクチン血症の意義に関する研究	吉田 雄一	消化器内科	3,510,000	補委 日本学術振興会
H B V 持続発現小動物モデルを用いたH B V複製機構ならびにH B V変異誘発機構の解明	大川 和良	消化器内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患と肝硬変におけるオートファジーの解析とその意義の解明	竹原 徹郎	消化器内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
脂肪組織由来間葉系(幹)細胞を用いた肝再生療法の開発に関する研究	渡部 健二	消化器内科	900,000	補委 日本学術振興会
B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究	林 紀夫	消化器内科	65,709,000	補委 厚生労働省
感染症予防事業費等国庫補助金/感染症対策特別促進事業	林 紀夫	消化器内科	2,883,000	補委 厚生労働省
医療施設等設備整備費補助金/災害派遣医療チーム体制整備事業	林 紀夫	消化器内科	3,113,000	補委 厚生労働省
インスリン様効果を有する新規内分泌因子ビスファチンの発現、分泌、活性化機構の解明	瀬川 勝盛	内分泌・代謝内科	900,000	補委 日本学術振興会
脂肪細胞における小胞体ストレスおよびストレスシグナルの生理病態的意義の解明	宮田 佑吾	内分泌・代謝内科	600,000	補委 日本学術振興会
低アディポネクチン血症概念の確立と治療法の開発; 心血管病における脂肪細胞の意義	船橋 徹	内分泌・代謝内科	7,930,000	補委 日本学術振興会
脂肪および血管内皮細胞由来新規内分泌因子に関する研究	福原 淳範	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
脂肪幹細胞を用いた次世代医療システムの開発~メタボリックシンドロームへの挑戦~	前田 和久	内分泌・代謝内科	17,000,000	補委 (財)千里ライフサイエンス振興財団
脳梗塞ハイリスク例における経口糖尿病薬の脳血管イベント一次予防効果の検討(略称: PROFIT-J研究)	松久 宗英	内分泌・代謝内科	525,000	補委 (財)循環器病研究振興財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血性心疾患における心電図同期SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-2 2型糖尿病患者における無症候性心筋虚血の評価	松久 宗英	内分泌・代謝内科	147,000	補委 (財)循環器病研究振興財団
テトラスパニンノックアウトマウスを用いた肺炎症メカニズムの解析	立花 功	呼吸器内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
COPDの病態におけるサーファクタント蛋白Dの役割分析	吉田 光宏	呼吸器内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
血管新生とリンパ管新生におけるテトラスパニンの機能解析	川瀬 一郎	呼吸器内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
発症メカニズムの解明と新たな創薬を目的としたCOPDモデルマウスの開発	立花 功	呼吸器内科	13,300,000	補委 (財)千里ライフサイエンス振興財団
肺癌を標的とした、WT1ペプチド癌ワクチン療法の開発	岡 芳弘	免疫・アレルギー内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
アレルギー疾患に対するフラボノイドによる食事療法の開発	田中 敏郎	免疫・アレルギー内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
血管内皮細胞表面分子の内在化誘導による阻害	榎崎 雅司	免疫・アレルギー内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
WT1遺伝子発現異常による造血幹細胞への影響と白血病発症に関する分子生物学的解析	西田 純幸	免疫・アレルギー内科	1,690,000	補委 文部科学省
副作用の少ない人工的インターフェロンの開発	織谷 健司	血液・腫瘍内科	8,840,000	補委 日本学術振興会
造血幹細胞の細胞内代謝・増殖・分化制御と白血病原因遺伝子が及ぼす影響に関する研究	松村 到	血液・腫瘍内科	7,020,000	補委 日本学術振興会
抗アポトーシス分子アナモルシンの作用機序と悪性リンパ腫における役割の解明	柴山 浩彦	血液・腫瘍内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
リンパ球初期分化制御分子の同定と機能解析	横田 貴史	血液・腫瘍内科	2,210,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発作性夜間血色素尿症に対するRNAアプタマーを用いた分子標的療法の開発	西村 純一	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
新規血小板機能抑制分子セマフォリン3Aの抑制機構および抗血栓作用に関する検討	柏木 浩和	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
白血病細胞のシグナルと分子標的治療	金倉 譲	血液・腫瘍内科	14,300,000	補委 文部科学省
STIMを中心とした細胞内カルシウム調節機構とサイトカインシグナル	織谷 健司	血液・腫瘍内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
AML1点突然変異体による骨髄異形成症候群発症の病態解析	佐藤 友亮	血液・腫瘍内科	1,500,000	補委 文部科学省
先端バイオ創薬研究	金倉 譲	血液・腫瘍内科	68,100,000	補委 (財)千里ライフサイエンス振興財団
インテグリン結合タンパクを介したインテグリン機能制御機構の解明と新規治療薬の開発	田所 誠司	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
白血病原性チロシンキナーゼと下流シグナル伝達分子による増殖・分化制御に関する検討	石田 尚子	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委 文部科学省
血管平滑筋細胞のアポトーシス制御による動脈硬化の予防、治療効果の検討	竹村 幸宏	老年・高血圧内科	800,000	補委 日本学術振興会
超音波を用いた難治性疾患への新規治療法の開発	谷山 義明	老年・高血圧内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
2型糖尿病寛解療法への新展開：脂肪肝合併糖尿病モデル動物を用いた検討	藤澤 智巳	老年・高血圧内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
長時間作用型核酸医薬（リボン型デオイ）の開発と有効性の検討	三宅 隆	老年・高血圧内科	2,210,000	補委 日本学術振興会
A beta 離散・クリアランスをターゲットとした認知症治療法に関する研究	里 直行	老年・高血圧内科	1,560,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Apopタンパク質の動脈硬化治療へ向けた応用研究	安田 修	老年・高血圧内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
爪分析を用いた生活習慣病の定量評価技術の確立	勝谷 友宏	老年・高血圧内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
「薬剤流出人工骨（ネオポーン）の薬効確認と実用化試験」および「デコイのインテリジェント化」	森下 竜一	老年・高血圧内科	37,200,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
心不全に対する低分子化合物によるリモデリング促進因子制御	谷山 義明	老年・高血圧内科	2,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
Aβ 離散促進作用に注目したアルツハイマー病予防法の開発	里 直行	老年・高血圧内科	2,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／再狭窄予防を目的とした薬剤溶出型PTAバルーンカテーテル（NFκBデコイコーティング）の研究開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	28,577,000	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
新規核酸ハイブリッド-スマップデコイの医薬品原体としての開発	森下 竜一	老年・高血圧内科	45,113,250	補委 経済産業省
接着阻害因子ペリオスチンに着目した新規心不全治療薬の開発	谷山 義明	老年・高血圧内科	20,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
二国間交流事業 韓国との共同研究	森下 竜一	老年・高血圧内科	1,200,000	補委 (独) 日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いた心筋再生治療法の検討	大倉 華雪	心臓血管外科	600,000	補委 日本学術振興会
生体特性である‘ゆらぎ’の新世代人工心臓への応用に関する研究	澤 芳樹	心臓血管外科	19,240,000	補委 日本学術振興会
骨格筋芽細胞移植により誘導される心筋再生因子の同定と治療応用に関する実験的研究	福蔭 教偉	心臓血管外科	6,240,000	補委 日本学術振興会
自己幹細胞由来心筋細胞シートによる移植医療にかかわる重症心不全治療法の開発	松宮 護郎	心臓血管外科	6,890,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己幹細胞誘導により自然治癒メカニズムを応用した心筋再生治療法の確立	上野 高義	心臓血管外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
末期重症心不全に対する左室補助装置下の自己心再生への挑戦	藤田 知之	心臓血管外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
自己組織化による組織完全再生を目指した成長する新規素材人工血管の開発	松宮 護郎	心臓血管外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
遺伝子導入及び蛋白導入を併用するハイブリッド型心筋保護法の開発	澤 芳樹	心臓血管外科	1,600,000	補委 日本学術振興会
骨格筋筋芽細胞シート移植術併用による単心室症の2心室修復術の開発	市川 肇	心臓血管外科	1,600,000	補委 日本学術振興会
脳死並びに心停止ドナーにおけるマージナルドナーの有効利用に関する研究	福高 教偉	心臓血管外科	15,000,000	補委 厚生労働省
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点(iPS細胞からの心筋分化系の確立ならびに動物モデルによる評価)	澤 芳樹	心臓血管外科	21,450,000	補委 文部科学省
再生医療の早期実用化を目指した再生評価技術開発(心筋の再生医療プロセスの計測・評価技術開発)	澤 芳樹	心臓血管外科	11,811,450	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
心不全発症予防を目指した新規サイトカイン療法の確立	松宮 護郎	心臓血管外科	7,000,000	補委 (財)千里ライフサイエンス振興財団
二国間交流事業 フィンランドとの共同研究	澤 芳樹	心臓血管外科	5,000,000	補委 (独)日本学術振興会
二国間交流事業 ドイツとの共同研究	澤 芳樹	心臓血管外科	2,500,000	補委 (独)日本学術振興会
医工学的再生治療技術に関する分野横断的研究	澤 芳樹	心臓血管外科	1,800,000	補委 国立循環器病センター
難治性循環器疾患の統合的な対策に関する研究	福高 教偉	心臓血管外科	1,500,000	補委 国立循環器病センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児重症心不全の治療成績向上のための機械的循環補助手段に関する総合的研究	松宮 護郎	心臓血管外科	2,000,000	補委 国立循環器病センター
重症肺炎腫／呼吸不全に対するヒト脂肪肝細胞シート移植を用いた新たな治療法の開発	重村 周文	呼吸器外科	1,508,000	補委 日本学術振興会
TregとTh17の制御による肺移植後の拒絶反応に対する新たな治療戦略の開発	奥村 明之進	呼吸器外科	8,060,000	補委 日本学術振興会
胸腺種内微小環境が与えるシグナルの解析に基づく胸腺腫の免疫学的機能の評価	門田 嘉久	呼吸器外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
肝胆膵領域悪性腫瘍の化学療法抵抗性に対するプロトソンの役割	小林 省吾	消化器外科	1,755,000	補委 日本学術振興会
消化器がん個別化医療実践への総合戦略	門田 守人	消化器外科	20,150,000	補委 日本学術振興会
消化器がんの腫瘍発生に於ける糖鎖修飾の関与	西田 俊朗	消化器外科	4,160,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌固有のシグナルと分子を標的とした新規治療法の展開	永野 浩昭	消化器外科	8,060,000	補委 日本学術振興会
消化管ホルモン・グレリンを用いた上部消化管術後QOL改善の総合的治療戦略	土岐 祐一郎	消化器外科	6,630,000	補委 日本学術振興会
大腸がんにおけるOMICsの臨床応用と新規マーカーの探索	竹政 伊知朗	消化器外科	6,630,000	補委 日本学術振興会
胆汁プロテオミクス解析による、肝移植後拒絶反応診断法の確立	丸橋 繁	消化器外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
国際膵島移植ネットワーク構築に向けた移植用ヒト膵島の長期品質管理法の確立	種村 匡弘	消化器外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
新医師臨床研修制度に対応した基礎的内視鏡外科手術トレーニングプログラムの構築	中島 清一	消化器外科	1,690,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
癌特異的エネルギー代謝を標的とした新規食道癌治療法の開発	宮田 博志	消化器外科	1,950,000	補 委	日本学術振興会
膵島移植長期成績改善のためのオートファージ阻害剤による免疫抑制副作用制御法の開発	伊藤 壽記	消化器外科	2,470,000	補 委	日本学術振興会
肝胆膵領域の新規バイオマーカーの探索	武田 裕	消化器外科	1,690,000	補 委	日本学術振興会
食道癌の診療向上のための分子遺伝学のおよび分子疫学的研究	森 正樹	消化器外科	16,640,000	補 委	日本学術振興会
臨床診断用DNAチップを用いた食道癌に対する化学療法感受性予測システムの構築	山崎 誠	消化器外科	1,950,000	補 委	文部科学省
大腸上皮幹細胞の加齢による変化と発癌への関与	森 正樹	消化器外科	5,500,000	補 委	文部科学省
DNAマイクロアレイによる幹細胞融合による消化管発癌の可能性の検討	門田 守人	消化器外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
進行癌に対する癌ワクチン療法の治療効果予測システムの新規開発	森 正樹	消化器外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
消化器がん個別化医療におけるファンクショナルゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスの臨床応用と治療体制の確立	門田 守人	消化器外科	25,200,000	補 委	厚生労働省
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	門田 守人	消化器外科	22,698,000	補 委	厚生労働省
胃癌および大腸癌の骨髄・末梢血・リンパ節中における移転形成能を有する遊離癌細胞 (Isolated Tumor Cell, ITC) の検出とその臨床応用	森 正樹	消化器外科	3,320,000	補 委	厚生労働省
大腸癌の発生、進展および治療感受性に関わる因子の解析	森 正樹	消化器外科	51,155,000	補 委	(独) 科学技術振興機構
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	森 正樹	消化器外科	5,000,000	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験（治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討）	池田 正孝	消化器外科	13,650	補委 (財)がん集学的治療研究財団
乳がんの個性診断と分子病態解明	野口 眞三郎	乳腺・内分泌外科	10,300,000	補委 文部科学省
Wilms腫瘍に対する生物学的予後因子により層別化した新規治療プロトコルの開発	大植 孝治	小児外科	12,350,000	補委 日本学術振興会
アミノ酸細胞膜トランスポートを標的とした小児固形腫瘍に対する治療法の開発	和佐 勝史	小児外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
多剤耐性関連蛋白を標的にしたRNA干渉による薬剤耐性神経芽腫に対する治療法の開発	福澤 正洋	小児外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
新素材を足場骨格に応用した小児の気管・気管支再生に関する研究	臼井 規朗	小児外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
腸管機能障害で惹起される中心静脈栄養関連肝障害の肝細胞周期制御のメカニズムの解明	田附 裕子	小児外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
ケモカイン及びそのレセプターを標的とする抗体療法及び遺伝子療法の開発	上野 豪久	小児外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
Wilms腫瘍に対するWT1遺伝子のサイレンシングによる分化誘導療法の開発	高間 勇一	小児外科	2,340,000	補委 文部科学省
網膜色素変性に対する進行防止療法の開発と視覚再生	不二門 尚	眼科	13,520,000	補委 日本学術振興会
バイオナノカプセルの眼疾患への応用	大黒 伸行	眼科	6,370,000	補委 日本学術振興会
不正乱視に対する治療的屈折矯正手段の基礎的研究	前田 直之	眼科	1,040,000	補委 日本学術振興会
重症ドライアイにおける眼表面ムチンの発現についての検討	堀 裕一	眼科	1,300,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
強度近視眼における眼内線維増殖および網膜剥離の研究	生野 恭司	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会
ゼブラフィッシュを用いたレチナルファシン遺伝子異常による網膜色素変性の病態解明	西信 良嗣	眼科	1,300,000	補委 日本学術振興会
加齢黄斑変性の病態解明－視細胞における脂質酸化とマクロファージの役割	瓶井 資弘	眼科	1,690,000	補委 日本学術振興会
眼内血管新生疾患に対する新規薬物療法の検討	大島 佑介	眼科	1,430,000	補委 日本学術振興会
視神経乳頭電気刺激による視機能再生の検討	坂口 裕和	眼科	1,820,000	補委 日本学術振興会
未熟児網膜症の病態研究とその治療薬剤の検討	日下 俊次	眼科	2,340,000	補委 日本学術振興会
眼組織幹細胞の分化誘導と再生医療への応用	井上 智之	眼科	1,300,000	補委 文部科学省
ラマン散乱分光を用いた網膜代謝画像解析	不二門 尚	眼科	1,900,000	補委 日本学術振興会
脈絡膜上経網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	田野 保雄	眼科	29,500,000	補委 厚生労働省
脈絡膜上経網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	田野 保雄	眼科	29,500,000	補委 厚生労働省
脈絡膜上経網膜電気刺激(STS)法による人工視覚システムの臨床応用	田野 保雄	眼科	29,500,000	補委 厚生労働省
高分解能眼底顕微鏡	不二門 尚	眼科	4,264,000	補委 (独) 科学技術振興機構
高解像度人工網膜電極の開発・評価	田野 保雄	眼科	15,470,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
モデル動物を用いた緑内障に対するアルツハイマー病治療薬による神経保護治療の開発	三木 篤也	眼科	910,000	補委 文部科学省
p53遺伝子変異を指標とした頭頸部進行癌に対するテーラーメイド治療の確立	猪原 秀典	耳鼻咽喉科	2,210,000	補委 日本学術振興会
小児人工内耳症例における中枢聴覚系その他覚的機能評価法の確立	大崎 康宏	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 日本学術振興会
前庭代償とカルシウム関連分子：めまい治療の創薬をめざして	堀井 新	耳鼻咽喉科	3,250,000	補委 日本学術振興会
DNAマイクロアレイによる内耳病態の解明－ヒト内リンパ嚢遺伝子の動態解析	土井 勝美	耳鼻咽喉科	2,990,000	補委 日本学術振興会
内耳発生における幹細胞・前駆細胞の増殖・分化制御機構の解明と再生医療への応用	村田 潤子	耳鼻咽喉科	1,950,000	補委 日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌患者の循環血液中の腫瘍細胞の定量	富山 要一郎	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委 文部科学省
3次元積層造形技術によるテーラーメイドタイプのコンピュータ支援股関節手術の開発	花之内 健仁	整形外科	600,000	補委 日本学術振興会
軟骨細胞シグナリングとマトリックス転写制御による軟骨形成・分化の解明	妻木 範行	整形外科	4,810,000	補委 日本学術振興会
生体関節運動に対する次世代画像としての3次元バーチャルリアリティ装置の開発	森友 寿夫	整形外科	4,160,000	補委 日本学術振興会
骨細胞特異的蛋白の血中濃度測定による経済的かつ簡便な骨強度評価法の新規開発	橋本 淳	整形外科	5,330,000	補委 日本学術振興会
スキャフォールドを用いない間葉系幹細胞由来三次元人工組織による骨軟骨再生	中村 憲正	整形外科	5,330,000	補委 日本学術振興会
運動器細胞の力学刺激応答の解析：遺伝子発現と細胞骨格，メカノトランスダクション	中田 研	整形外科	4,550,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨再生のための高機能付加型人工骨の開発	吉川 秀樹	整形外科	8,190,000	補委 日本学術振興会
関節障害の病態解明と薬物治療効果判定のための機能的イメージングの開発	西井 孝	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
悪性骨軟部腫瘍肺転移成立における骨髄由来細胞によるニッチの形成とその役割	橋本 伸之	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
酸素分圧の骨組織への影響とそのメカニズムの解明	南平 昭豪	整形外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
骨リモデリングと破骨細胞形成における骨形成因子の機能の解析	岡本 美奈	整形外科	2,210,000	補委 文部科学省
造血系幹細胞の骨分化能の検討と再生医療への応用	玉井 宣行	整形外科	1,690,000	補委 文部科学省
脂肪細胞から核の初期化を経て誘導した軟骨細胞による軟骨修復	妻木 範行	整形外科	1,600,000	補委 日本学術振興会
航空宇宙用複合材料による超長寿命型人工股関節の実用性検証	菅野 伸彦	整形外科	13,525,000	補委 (独) 科学技術振興機構
骨関連手術支援システムとしての3D - GBSの開発	村瀬 剛	整形外科	62,140,000	補委 (独) 科学技術振興機構
複合組織再生技術とコンピューター支援外科技術によるバイオ人工関節の開発	吉川 秀樹	整形外科	10,400,000	補委 (独) 科学技術振興機構
三次元複合臓器構造体研究開発	吉川秀樹	整形外科	9,987,600	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
ヒト軟骨三次元組織を用いた創薬スクリーニングキットの開発	中田 研	整形外科	17,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
骨髄由来表皮細胞による表皮再生誘導に関する基礎研究	玉井 克人	皮膚科	4,420,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
皮膚における artemin の発現機構とその分子生理学的役割の検討	室田 浩之	皮膚科	1,430,000	補委 日本学術振興会
皮膚再生機構の解明-毛包細胞内シグナル伝達機構の解析-	板見 智	皮膚科	1,820,000	補委 日本学術振興会
皮膚表皮細胞特異的 P B P 遺伝子欠損マウスの作成とその解析	中島 武之	皮膚科	2,340,000	補委 文部科学省
皮膚疾患および病態における核移行シグナルの役割	梅垣 知子	皮膚科	2,600,000	補委 文部科学省
表皮水疱症の根治的治療法確立に関する研究	玉井 克人	皮膚科	39,000,000	補委 厚生労働省
改良型AG-30の製剤化・薬効検討	玉井 克人	皮膚科	61,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
新規脳梗塞治療薬を目指した機能的組織再生促進医薬の開発	玉井 克人	皮膚科	845,000	補委 (独) 科学技術振興機構
骨髄由来間葉系幹細胞動員因子による非瘢痕性機能的組織再生誘導医薬開発のための基盤研究	玉井 克人	皮膚科	17,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
p21 遺伝子のシュワン細胞における役割、及び治療への応用	富田 興一	形成外科	1,300,000	補委 文部科学省
神経再生が及ぼす皮膚創傷治療への影響	久保 盾貴	形成外科	1,690,000	補委 文部科学省
ラット坐骨神経モデルを用いた末梢神経再生における神経端側吻合付加の影響	藤原 敏宏	形成外科	1,300,000	補委 文部科学省
移植神経側面への端側縫合における開窓形態の影響	服部 亮	形成外科	1,170,000	補委 文部科学省
Nerve predegeneration の軸索再生に対する効果と至適条件の検討	藤山 浩	形成外科	2,470,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血脳における側副血行路発達促進手段の開発	北川 一夫	神経内科・脳卒中科	2,860,000	補委 日本学術振興会
ミオトニー症候群-Naチャネル病と筋強直性ジストロフィー症-の病態解明	高橋 正紀	神経内科・脳卒中科	2,990,000	補委 日本学術振興会
筋強直性ジストロフィー症の細胞病態に関する研究	佐古田 三郎	神経内科・脳卒中科	1,000,000	補委 国立精神・神経センター
遺伝性認知症関連蛋白群とユビキチンシステムの関与による神経変性メカニズム	武田 雅俊	神経科・精神科	4,290,000	補委 日本学術振興会
メチオニンPETによるアルツハイマー病患者の神経細胞障害の同定	数井 裕光	神経科・精神科	1,820,000	補委 日本学術振興会
脳内にあるアルツハイマー病アミロイドβ以外のアミロイドβ様ペプチド群の性質	大河内 正康	神経科・精神科	1,820,000	補委 日本学術振興会
脳血管障害から認知症に至る危険因子とアルツハイマー病関連因子との相互作用の解明	福永 知子	神経科・精神科	1,950,000	補委 日本学術振興会
近赤外分光法による脳血流同時測定を用いた精神疾患の経頭蓋磁気刺激治療法の開発研究	岩瀬 真生	神経科・精神科	1,950,000	補委 日本学術振興会
小胞体分子シャペロン誘導剤のアルツハイマー病治療への応用研究	工藤 喬	神経科・精神科	1,950,000	補委 日本学術振興会
アミロイドベータの分解を促進する方法の開発	田上 真次	神経科・精神科	1,950,000	補委 日本学術振興会
アルツハイマー病治療薬候補NSAIDのアミロイドワクチンへの作用と抗炎症効果	森原 剛史	神経科・精神科	1,950,000	補委 日本学術振興会
認知症性疾患の神経変性メカニズムにおけるRNA・蛋白相互作用の関与	田中 稔久	神経科・精神科	1,950,000	補委 日本学術振興会
統合失調症患者における脆弱性遺伝子ディスバインジンによる病態研究	橋本 亮太	神経科・精神科	6,890,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ゼブラフィッシュ疾患モデルによる遺伝性網膜疾患における視細胞死の機構の解明	辻川 元一	神経科・精神科	14,300,000	補委 文部科学省
アルツハイマー病と軽度認知障害のアミロイドイメージング	徳永 博正	神経科・精神科	1,430,000	補委 文部科学省
アルツハイマー病の関連遺伝子探索研究	武田 雅俊	神経科・精神科	15,000,000	補委 文部科学省
統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの遺伝子改変動物を用いた分子病態解析	橋本 亮太	神経科・精神科	3,800,000	補委 文部科学省
精神疾患脆弱性遺伝子と中間表現型に基づく新しい診断方法・治療法の開発に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	25,000,000	補委 厚生労働省
精神疾患脆弱性遺伝子と中間表現型に基づく新しい診断方法・治療法の開発に関する研究	武田 雅俊	神経科・精神科	500,000	補委 厚生労働省
化合物BIXの薬効解析 (in vitro解析)	工藤 喬	神経科・精神科	5,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
アルツハイマー病病理過程の分子レベル基盤研究と発症リスク遺伝子の機能解析およびそれらの融合	武田 雅俊	神経科・精神科	165,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
意欲と学習に対する環境・遺伝因子の影響とそのメカニズムの解明	橋本 亮太	神経科・精神科	2,600,000	補委 (独) 科学技術振興機構
統合失調症発症脆弱性因子Dysbindinの機能解析	橋本 亮太	神経科・精神科	3,900,000	補委 (独) 科学技術振興機構
MIC (軽度認知障害患者) を対象としたアルツハイマー型痴呆の早期診断に関する調査研究	武田 雅俊	神経科・精神科	94,500	補委 (財) 長寿科学振興財団
正常圧水頭症の臨床データベース構築と治療法の標準化	数井 裕光	神経科・精神科	1,000,000	補委 国立長寿医療センター
神経カラム電気刺激による視覚再建のための多角的アプローチ	吉峰 俊樹	脳神経外科	3,510,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
霊長類視床痛モデルによる難治性疼痛の脳内機序解明と新たな治療法の開発	齋藤 洋一	脳神経外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
3テスラーMRIによるマルチテンソル・トラクトグラフィーの臨床応用とその検証	橋本 直哉	脳神経外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
脳磁図による脳虚血性疾患の神経機能評価	押野 悟	脳神経外科	1,300,000	補委 文部科学省
小児脳腫瘍における腫瘍幹細胞分離・培養とテーラーメイド治療の開発	香川 尚己	脳神経外科	1,560,000	補委 文部科学省
脊髄損傷に対する自家嗅粘膜移植による再生治療	岩月 幸一	脳神経外科	900,000	補委 日本学術振興会
日本の特長を活かしたBMIの統合的研究開発	吉峰 俊樹	脳神経外科	79,982,000	補委 文部科学省
次世代医療機器評価指標作成事業 ニューロモジュレーション分野	吉峰 俊樹	脳神経外科	6,000,000	補委 国立医薬品食品衛生研究所
超音波sonoporation効果を用いた新規脳白質線維の画像化法の開発	木下 学	脳神経外科	1,690,000	補委 文部科学省
悪性グリオーマにおけるWT1免疫療法・化学療法併用新規集学的治療法の開発 課題番号 20390384 研究代表者 兵庫医科大学 泉本修一	木下 学	脳神経外科	390,000	補委 日本学術振興会
麻酔薬の神経保護メカニズム：MAPキナーゼとカルシウム動態からの解明	澁田 達史	麻酔科	910,000	補委 日本学術振興会
揮発性全身麻酔薬の副作用の分子機構：モーター蛋白1分子レベルでの解明	宮本 善一	麻酔科	650,000	補委 日本学術振興会
siRNAによる遺伝子発現抑制系を用いたプレコンディショニングの機序の解明	上林 卓彦	麻酔科	1,690,000	補委 日本学術振興会
デコイ型核酸の遺伝子導入による神経因性疼痛の病態解明と治療法の開発	阪上 学	麻酔科	1,690,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳由来神経成長因子および麻酔薬の直接可視化	柴田 晶カール	麻酔科	650,000	補委 文部科学省
脊髄損傷後の神経因性疼痛における活性酸素の役割解明	高橋 亜矢子	麻酔科	1,820,000	補委 文部科学省
核小体低分子RNAを用いた神経因性疼痛治療薬の開発	中江 文	麻酔科	2,210,000	補委 文部科学省
ポリタングステン酸のLGIC受容体に対する相互作用	植田 一吉	麻酔科	1,040,000	補委 文部科学省
ラットにおける侵害受容モニターの開発	真下 節	麻酔科	1,900,000	補委 日本学術振興会
複合性局所疼痛症候群の高次運動機能障害評価とその機構解明	植松 弘進	麻酔科	2,210,000	補委 文部科学省
RCAS1を用いた妊娠高血圧症候群発症の予知についての研究	TSKITISHVILI Ekaterine	産科婦人科	800,000	補委 日本学術振興会
卵巣明細胞癌に対するmTORを標的とした分子標的治療の可能性の検討	馬淵 誠士	産科婦人科	1,755,000	補委 日本学術振興会
子宮内膜着床能のリアルタイム検出法の開発	木村 正	産科婦人科	5,980,000	補委 日本学術振興会
周産期脳障害の病態特異的な予防および治療にむけて	富松 拓治	産科婦人科	1,170,000	補委 日本学術振興会
CRPは周産期脳障害の病因の一つである-CRP阻害薬による治療をめざして-	衣笠 友基子	産科婦人科	1,300,000	補委 日本学術振興会
胎児付属物由来間葉系幹細胞を用いた周産期脳障害の新しい治療戦略	金川 武司	産科婦人科	2,340,000	補委 日本学術振興会
新生児脳障害の新しい予防法	味村 和哉	産科婦人科	1,560,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生体内分解性高分子微粒子を用いた子宮局所におけるドラッグデリバリーシステムの開発	木村 正	産科婦人科	1,600,000	補委 日本学術振興会
着床不全不妊症に対する自己マクロファージを用いた治療法の検討	中村 仁美	産婦人科	1,742,000	補委 日本学術振興会
カルシウム調節ホルモンによるβ-カテニンシグナル増強・骨量増加作用の検討	大菌 恵一	小児科	2,210,000	補委 日本学術振興会
中枢神経の新規ストレス蛋白リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の機能解明	毛利 育子	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
フォンタン型循環における肺血管のエンドセリン関連蛋白の分布とその動態	吉田 葉子	小児科	1,170,000	補委 文部科学省
Wnt阻害因子sFRP3による側頭葉てんかんの新たな治療方法の開発	北畠 康司	小児科	1,742,000	補委 日本学術振興会
小児癌治療後の男性不妊症に関する研究	奥山 明彦	泌尿器科	14,430,000	補委 日本学術振興会
男性不妊症の新たな検査法の開発	宮川 康	泌尿器科	4,680,000	補委 日本学術振興会
ヒト性欲障害発現機構の包括的解析	辻村 晃	泌尿器科	4,680,000	補委 日本学術振興会
尿意に対する中枢神経機構の解析	高尾 徹也	泌尿器科	650,000	補委 文部科学省
前立腺癌の悪性度に対する新規バイオマーカーの検索	中山 雅志	泌尿器科	1,560,000	補委 文部科学省
前立腺炎によるマウス前立腺癌モデルの確立	中井 康友	泌尿器科	1,950,000	補委 文部科学省
エピガロカテキンガレートによる腎虚血再灌流障害および急性腎拒絶反応の制御	奥見 雅由	泌尿器科	1,625,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
コンピュータ断層画像を用いた肺リモデリング評価用バイオマーカーの創出	富山 憲幸	放射線診断科	780,000	補委 日本学術振興会
間質性肺炎合併肺癌症例における間質性肺炎の放射線学的・病理学的評価に関する研究	澄川 裕充	放射線科	1,950,000	補委 文部科学省
呼吸同期照射による線量分布の歪みに関する研究	隅田 伊織	放射線治療科	650,000	補委 文部科学省
接着分子インテグリン伝達経路を標的とした放射線治療効果増強のための基礎的検討	尾方 俊至	放射線治療科	1,820,000	補委 文部科学省
対向型ポジトロンイメージングシステムによるマイクロドーズ薬物動態に関する基礎研究	下瀬川 恵久	核医学診療科	1,560,000	補委 日本学術振興会
PET/MRI一体型装置の概念設計とソフトウェアの開発	畑澤 順	核医学診療科	19,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
生体微小領域の機能画像を超高解像度で断層撮像する技術の実用化	畑澤 順	核医学診療科	78,256,169	補委 近畿経済産業局
SPECTを用いた脳血管病変診断法の標準化と臨床的評価	畑澤 順	核医学診療科	1,700,000	補委 国立循環器病センター
患者検体結果を用いた新規の精度管理法の開発と汎用化に向けた研究	巽 圭太	臨床検査部	1,040,000	補委 日本学術振興会
高感度TSHレセプター抗体測定法を用いたバセドウ病発症メカニズムの解明	日高 洋	臨床検査部	1,950,000	補委 日本学術振興会
悪性リンパ腫の穿刺吸引核酸診断法の臨床検討	高野 徹	臨床検査部	1,950,000	補委 日本学術振興会
甲状腺乳頭癌を診断する新規マーカーの測定法の開発と新しい治療法への応用	中田 幸子	臨床検査部	17,000,000	補委 (財) 千里ライフサイエンス振興財団
医工連携による、肺組織再生をめざした新たな肺気腫の治療法の開発	南 正人	手術部	1,560,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経因性疼痛モデルにおけるセロトニン受容体 (5HT-2C) のRNA編集の効果	高階 雅紀	手術部	1,560,000	補委 日本学術振興会
体幹部悪性腫瘍の評価におけるPET-MRI融合の実用性・有用性に関する検討	巽 光朗	放射線部	910,000	補委 文部科学省
卵巣癌腹膜播種に重要なインテグリンの特定とその発現機序の解析	澤田 健二郎	総合周産期母子医療センター	1,755,000	補委 日本学術振興会
子宮頸癌発生に関わる p 7 2 遺伝子の臨床検体における発現及び細胞株における強制発現	宮武 崇	総合周産期母子医療センター	2,210,000	補委 文部科学省
miRNAの痛みのメカニズムへの関与の解明	萩平 哲	集中治療部	11,830,000	補委 日本学術振興会
集中治療部の呼吸不全、人工呼吸患者における横隔膜筋力の検討	内山 昭則	集中治療部	3,250,000	補委 日本学術振興会
腫瘍幹細胞に立脚した腫瘍の性格付けに関する研究	森井 英一	病理部	1,820,000	補委 日本学術振興会
悪性リンパ腫における腫瘍幹細胞の解析	池田 純一郎	病理部	2,080,000	補委 文部科学省
腫瘍幹細胞による腫瘍の個性化に関する研究	森井 英一	病理部	3,800,000	補委 文部科学省
鼻腔NK/T細胞リンパ腫発生要因の系統的解析	青笹 克之	病理部	4,400,000	補委 文部科学省
新規実験システムの構築とそれを用いた $\alpha 1 1 b \beta 3$ 機能制御機構の解析	富山 佳昭	輸血部	2,210,000	補委 日本学術振興会
$\beta 3$ インテグリンの機能調節に関わる分子のクローニングおよびその解析 課題番号 20591162 研究代表者 国立循環器病センター 本田繁則	富山 佳昭	輸血部	299,000	補委 日本学術振興会
血液凝固異常症に関する調査研究	富山 佳昭	輸血部	1,000,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性C型肝炎に対する細胞免疫制御に基づく個別化治療の開発	笠原 彰紀	総合診療部	1,170,000	補委 日本学術振興会
テロメラーゼ制御技術の確立と再生医療への応用	石川 一彦	総合診療部	1,300,000	補委 日本学術振興会
症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステム開発とコストに関する研究	松村 泰志	医療情報部	800,000	補委 厚生労働省
タイムスタディ等の定量的な検討を踏まえたがん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究	松村 泰志	医療情報部	1,000,000	補委 厚生労働省
侵襲時再生応答に関する研究：血管内皮再生からみた新たな治療戦略	小倉 裕司	高度救命救急センター	14,430,000	補委 日本学術振興会
蘇生後低酸素脳症患者の急性期病態の解明と治療法開発に関する研究	塩崎 忠彦	高度救命救急センター	5,460,000	補委 日本学術振興会
白血球のアクアポリンを介した全身性炎症反応の制御に関する研究	小倉 裕司	高度救命救急センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
搬送救急患者の予後調査・分析に関する研究	杉本 壽	高度救命救急センター	6,000,000	補委 厚生労働省
救急部門と周産期部門との連携強化に資する具体的手法に関する研究	杉本 壽	高度救命救急センター	5,000,000	補委 厚生労働省
脈絡叢上衣細胞を用いた内在性神経幹細胞の賦活化—中枢神経損傷治療応用を目指して—	松本 直也	高度救命救急センター	4,550,000	補委 日本学術振興会
TR実践のための戦略的高機能拠点整備	澤 芳樹	未来医療センター	246,998,050	補委 文部科学省
複合組織再生技術とコンピューター支援外科技術によるバイオ人工関節の開発	名井 陽	未来医療センター	35,620,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
再生医療評価研究開発事業/心筋再生治療研究開発	澤 芳樹	未来医療センター	134,786,400	補委 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
間葉系幹細胞を用いた再生医療早期実用化のための橋渡し研究	澤 芳樹	未来医療センター	59,994,900	補 委	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
粒子線がん治療に係る人材育成プログラム	井上 武宏	未来医療センター	5,637,000	補 委	文部科学省
二国間交流事業共同研究・セミナー／新規生分解性遺伝子ベクターによるHGF遺伝子の導入と心機能改善効果	荏原 充宏	未来医療センター	800,000	補 委	日本学術振興会
悪性骨腫瘍の転移制御機構の解明と抗転移療法の開発	名井 陽	未来医療センター	1,170,000	補 委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する腫瘍細胞特異的結合性ミセルを用いた新たな治療法の開発	李 千萬	未来医療センター	1,500,000	補 委	日本学術振興会
脂肪組織由来間葉系幹細胞より誘導した肝細胞様細胞塊を用いた新たな治療法の開発	文元 雄一	未来医療センター	2,100,000	補 委	日本学術振興会
神経再生時に炎症性サイトカインが及ぼす影響とそのメカニズムの解明	田中 啓之	未来医療センター	1,755,000	補 委	日本学術振興会
心筋組織再生を物理的・機能的に促進する新規再生治療用デバイスの開発	齋藤 充弘	未来医療センター	5,000,000	補 委	厚生労働省
類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	名井 陽	未来医療センター	1,200,000	補 委	厚生労働省
表皮水疱症の根治的治療法確立に関する研究	江副 幸子	未来医療センター	2,000,000	補 委	厚生労働省
ホウ素ナノデバイス型中性子捕捉治療	李 千萬	未来医療センター	10,000,000	補 委	厚生労働省
自己修復機能を賦活化する心筋再生デバイスの開発	齋藤 充弘	未来医療センター	2,080,000	補 委	文部科学省
「MRSAプール」の概念に基づく先制攻撃のかつ重点的な感染対策法の確立	橋本 章司	感染制御部	1,300,000	補 委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大学病院における医療安全・質向上方策の定量的評価に関する研究	中島 和江	中央クオリティマネジメント部	3,380,000	補委 日本学術振興会
神経系における“エンドカイン”の役割と炎症性・変性疾患の解析	山本 洋一	臨床試験部	2,210,000	補委 日本学術振興会
C/EBP δ 発現の腎障害進展に果たす役割に関する研究	川田 典孝	血液浄化部	1,755,000	補委 日本学術振興会
vitaminDの糸球体上皮細胞への直接作用を介した腎保護作用の検討	松井 功	血液浄化部	2,990,000	補委 文部科学省
大学改革推進等補助金／大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	70,000,000	補委 文部科学省
大学改革推進等補助金／大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	2,500,000	補委 文部科学省 (大阪医科大学より分担)
大学改革推進等補助金／大学病院連携型高度医療人養成推進事業	笠原 彰紀	卒後教育開発センター	1,000,000	補委 文部科学省 (滋賀医科大学より分担)
認知機能関連遺伝子同定と機能解析	戸田 達史	遺伝子診療部	8,320,000	補委 日本学術振興会
パーキンソン病関連遺伝子探索と機能解析	戸田 達史	遺伝子診療部	7,100,000	補委 文部科学省
ゲノム解析によるパーキンソン病遺伝子同定と創薬・テララーメード研究	戸田 達史	遺伝子診療部	61,196,000	補委 厚生労働省
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患のユニークな治療法開発と病態解明	戸田 達史	遺伝子診療部	36,400,000	補委 厚生労働省
原因不明の精神遅滞児(者)における潜在的ゲノム構造異常の探索と疾患遺伝子の同定ならびに遺伝子診断法の開発	戸田 達史	遺伝子診療部	1,000,000	補委 国立精神・神経センター
パーキンソン病の発症・薬剤感受性に関連するSNPの探索と機能解析	水田 依久子	遺伝子診療部	1,690,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患の遺伝子異常と蛋白質/細胞病態および治療に関する研究	戸田 達史	遺伝子診療部	2,000,000	補 ○ 委	国立精神・神経センター
肺修復及び肺癌発生に対するインターロイキン-6ファミリーサイトカインの役割	木田 博	オンコロジーセンター	1,742,000	補 ○ 委	日本学術振興会

計 313

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
S,Omiya	Downregulation of ferritin heavy chain increases labile iron pool, oxidative stress and cell death in cardiomyocytes	J Mol Cell Cardiol	循環器内科
T Watanabe	Reduction in hemoglobin-oxygen affinity results in the improvement of exercise capacity in mice with chronic heart failure	J Am Coll Cardiol	循環器内科
Y Takeda	Noninvasive assessment of diastolic function in subjects with preserved left ventricular ejection fraction: usefulness of color kinetic imaging.	J Card Fail	循環器内科
Y Takeda	Noninvasive assessment of wall distensibility with the evaluation of diastolic epicardial movement	J Card Fail	循環器内科
Y Nakaoka	Interaction of Scaffolding Docking Protein Gab1 with Protein Tyrosine Phosphatase SHP2 Negatively Regulates Myogenic Differentiation through ERK1/2 Signaling Pathway.	J. Biol. Chem. 2008, 283, 24234-24244.	循環器内科
K Takihara	Clinical significance of plasma endothelin-1 level after bosentan administration in pulmonary arterial hypertension.	J Cardiol. 2009 53:374-80.	循環器内科
S Yamashita	Association of serum apolipoprotein B48 level with the presence of carotid plaque in type 2 diabetes mellitus	Diabetes Res Clin Pract 81:338-344, 2008	循環器内科
D Masuda	Chylomicron remnants are increased in the postprandial state in CD36 deficiency	J Lipid Res 50(5):999-1011, 2009. Epub 2008 Aug 27.	循環器内科
S Yamashita	Effect of weight loss on markers of triglyceride-rich lipoprotein metabolism in the metabolic syndrome	Eur J Clin Invest 38(10):743-751, 2008	循環器内科
S Yamashita	Evaluation of a homogeneous assay for measuring LDL-cholesterol in hyperlipidemic serum specimens	J Atheroscler Thromb 15(2):82-86, 2008	循環器内科
S Yamashita	Evaluation of an HPLC method for LDL-cholesterol determination in patients with various lipoprotein abnormalities in comparison with beta-quantification	Clin Chim Acta 395(1-2):62-67, 2008, Epub 2008 May 15	循環器内科
S Suna	Up-regulation of Cell Adhesion Molecule Genes in Human Endothelial Cells Stimulated by Lymphotoxin alpha: a DNA Microarray Analysis.	J Atheroscler Thromb. 2008;15(3): 160-16	循環器内科
H Sato	Lipid profile, plasma apolipoproteins, and risk of a first myocardial infarction among Asians: an analysis from the INTERHEART Study.	J Am Coll Cardiol. 2009 Jan 20; 53(3):244-53	循環器内科
D Nakatani	Rehospitalization for Heart Failure Among Survivors of Acute Myocardial Infarction in the Percutaneous Coronary Intervention Era.	Circ J 2009; 73: 662-666	循環器内科
M Usami	Effect of Intracoronary Thrombectomy on 30-day Mortality in Non-Diabetic Patients With Acute Hyperglycemia After Acute Myocardial Infarction.	J Cardiology 2009 : 53: 429-436	循環器内科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
H Sato	SNPs in BRAP associated with risk of myocardial infarction in Asian populations.	Nature Gen 2009;41(3), 329-333	循環器内科
S Suna	Lymphotoxin- α 3 mediates monocyte-endothelial interaction by TNFR1/NF- κ B signaling.	Biochem Biophys Res Commun. 2009 Feb 6;379(2):374-8.	循環器内科
S Takashima	Higher mortality in heterozygous neuropilin-1 mice after cardiac pressure overload.	Biochem Biophys Res Commun. (370, 317-21. 2008)	循環器内科
S Takashima	Atorvastatin slows the progression of cardiac remodeling in mice with pressure overload and inhibits epidermal growth factor receptor activation.	Hypertens Res. (31, 335-44. 2008)	循環器内科
T Minamino	Prolonged targeting of ischemic/reperfused myocardium by liposomal adenosine augments cardioprotection in rats.	J Am Coll Cardiol. 2009 Feb 24;53(8):709-17	循環器内科
今井圓裕	Serum osteoprotegerin as a screening tool for coronary artery calcification score in diabetic pre-dialysis patients.	Hypertens Res. (2008;31(6):1163-70.)	腎臓内科
今井圓裕	Pharmacokinetics of olmesartan medoxomil in hemodialysis patients: little effect of dialysis upon its pharmacokinetics.	Clin Exp Nephrol. (2009;13(1):61-5.)	腎臓内科
今井圓裕	Simple sampling strategy for measuring inulin renal clearance.	Clin Exp Nephrol. (2009;13(1):50-4.)	腎臓内科
猪阪善隆	Bcl-2 protects tubular epithelial cells from ischemia reperfusion injury by inhibiting apoptosis.	Cell Transplant. (2008;17(1-2):223-9.)	腎臓内科
猪阪善隆	Participation of autophagy in renal ischemia/reperfusion injury.	Biochem Biophys Res Commun. (2008 28;368(1):100-6.)	腎臓内科
長澤康行	Assessment of coronary stenosis by a 16-slice MDCT scanner in asymptomatic diabetic patients starting dialysis therapy.	Nephron Clin Pract. (2008;109(2):72-9.)	腎臓内科
岩谷博次	Valvular injury in a patient with PR3-ANCA-associated glomerulonephritis.	Nat Clin Pract Nephrol. (2008;4(10):576-82.)	腎臓内科
Ishii S	Involvement of bone marrow-derived stromal cells in gastrointestinal cancer development and metastasis.	J Gastroenterol Hepatol.(2008 Dec;23 Suppl 2:S242-9.)	消化器内科
Kamada Y	Transplantation of basic fibroblast growth factor-pretreated adipose tissue-derived stromal cells enhances regression of liver fibrosis in mice.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. (2009 Feb;296(2):G157-67)	消化器内科
Nishihara T	Adiponectin deficiency enhances colorectal carcinogenesis and liver tumor formation induced by azoxymethane in mice.	World J Gastroenterol (2008 Nov 14;14(42):6473-80.)	消化器内科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Ezaki H	Delayed liver regeneration after partial hepatectomy in adiponectin knockout mice.	Biochem Biophys Res Commun (2009 Jan 2;378(1):68-72)	消化器内科
Tatsumi T	Decreased expressions of CD1d molecule on liver dendritic cells in subcutaneous tumor bearing mice.	J Hepatol. (2008 Nov;49(5):779-86)	消化器内科
Kohga K	Serum levels of soluble major histocompatibility complex (MHC) class I-related chain A in patients with chronic liver diseases and changes during transcatheter arterial embolization for hepatocellular carcinoma.	Cancer Sci(2008.Aug;99(8):1643-9)	消化器内科
Ohkawa K	Supportive role played by precore and preS2 genomic changes in the establishment of lamivudine-resistant hepatitis B virus.	J Infect Dis. (2008 Oct 15;198(8):1150-8.)	消化器内科
Egawa S	Kakiuchi Y, Yasumaru M, Yoshihara H, Kanto T, Tsujii M, Tsuji S, Hayashi N. Upregulation of GRAIL is associated with remission of ulcerative colitis.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. (2008 Jul;295(1):G163-G169.)	消化器内科
Yamaguchi S	Dendritic cell-based vaccines suppress metastatic liver tumor via activation of local innate and acquired immunity.	Cancer Immunol Immunother (2008 Dec;57(12):1861-9.)	消化器内科
Horino J	Suppressor of cytokine signaling-1 ameliorates dextran sulfate sodium-induced colitis in mice.	Int Immunol. (2008 Jun;20(6):753-62.)	消化器内科
Yamamoto T	Disturbed gastrointestinal motility and decreased interstitial cells of Cajal in diabetic db/db mice.	J Gastroenterol Hepatol (2008 Apr;23(4):660-7)	消化器内科
Nishida T	Cultured bone marrow cell local implantation accelerates healing of ulcers in mice.	J Gastroenterol. 2008;43(2):124-35	消化器内科
Miyazaki M	Impaired cytokine response in myeloid dendritic cells in chronic hepatitis C virus infection regardless of enhanced expression of Toll-like receptors and retinoic acid inducible gene-1.	J Med Virol. (2008 Jun;80(6):980-8.)	消化器内科
片上 直人	Cumulative effect of oxidative stress-related gene polymorphisms on myocardial infarction in type 2 diabetes	Diabetes Care (2009; 32(5): e55)	内分泌・代謝内科
片上 直人	Combined effect of oxidative stress-related gene polymorphisms on atherosclerosis	Biochem Biophys Res Commun (2009; 379(4): 861-5)	内分泌・代謝内科
Takeda Y 他	Double deficiency of tetraspanins CD9 and CD81 alters cell motility and protease production of macrophages and causes chronic obstructive pulmonary disease-like phenotype in mice.	J Biol Chem 283:26089-26097, 2008.	呼吸器内科
Iwahori K 他	Megakaryocyte potentiating factor as a tumor marker of malignant pleural mesothelioma: Evaluation in comparison with mesothelin.	Lung Cancer 62:45-54, 2008.	呼吸器内科
Takimoto Y 他	4-hydroxy-2-nonenal induces endothelial cell injury via PKC delta and biphasic JNK activation.	Exp Clin Sci Internat Online J 7:71-78, 2008.	呼吸器内科
Narazaki M et al	Sulfated polysaccharides identified as inducers of neuropilin-1 internalization and functional inhibition of VEGF165 and semaphorin3A	Blood (April 15;4126-36)	免疫・アレルギー内科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Narazaki M et al	Neuropilin-2: a new molecular target for antiangiogenic and antitumor strategies	J Nutr Cancer Inst (January 100:109-20)	免疫・アレルギー内科
Kuwahara Y et al	What kind of durometer is best suited for the assessment of skin disease in systemic sclerosis?	Arthritis Rheum (April 59:601)	免疫・アレルギー内科
Nishikawa T et al	Transcriptional complex formation of c-Fos, STAT3, and hepatocyte NF-1a is essential for cytokine-driven CRP gene expression.	J Immunol (March 180:3492-501)	免疫・アレルギー内科
Kuwahara Y et al	Quantification of hardness, elasticity and viscosity of the skin of patients with systemic sclerosis using a novel sensing device (Vesmeter): a proposal for a new outcome measurement procedure.	Rheumatol (July 47:1018-24)	免疫・アレルギー内科
Oka Y et al	A WT1 protein-derived, naturally processed 16-mer peptide, WT1332, is a promiscuous helper peptide for induction of WT1-specific Th1-type CD4+ T cells.	Microbiol. Immunol. (Dec 52(12): 591-600)	免疫・アレルギー内科
Oka Y et al	Identification of a WT1 protein-derived peptide, WT1187, as a HLA-A0206-restricted, WT1-specific CTL epitope.	Microbiol. Immunol. (Nov 52(11): 551-558).	免疫・アレルギー内科
Oka Y et al	WT1 peptide vaccine for the treatment of cancer.	Curr. Opin. Immunol. (May 20(2): 211-220)	免疫・アレルギー内科
杉本 研	A polymorphism regulates CYP4A11 transcriptional activity and is associated with hypertension in a Japanese population.	Hypertension (2008, 52:1142)	老年・腎臓内科学
杉本 研	Telmisartan increases fatty acid oxidation in skeletal muscle through a peroxisome proliferation-activated receptor-gamma dependent pathway.	Journal of Hypertension (2008, 26:1209)	老年・腎臓内科学
大石 充	Comparison of arterial functional evaluations as a predictor of cardiovascular events in hypertensive patients: the non-invasive atherosclerotic evaluation in hypertension (NOAH) study.	Hypertension Research (2008, 31:1135)	老年・腎臓内科学
岩嶋 義雄	Pulmonary venous flow and risk of cardiovascular disease in essential hypertension.	Journal of Hypertension (2008, 26:798)	老年・腎臓内科学
萩原 俊男	Effects of candesartan compared with amlodipine in hypertensive patients with high cardiovascular risk: candesartan antihypertensive survival evaluation in Japan trial.	Hypertension (2008, 51:393)	老年・腎臓内科学
Higuchi T.	Granulocyte colony-stimulating factor prevents reperfusion injury after heart preservation.	Ann Thorac Surg. (2008 Apr;85(4);1367-73.)	心臓血管外科
Torikai K.	A self-renewing, tissue-engineered vascular graft for arterial reconstruction.	J Thorac Cardiovasc Surg. (2008 Jul;36(1);37-45)	心臓血管外科
Yamauchi T.	Ubiquitin-mediated stress response in the spinal cord after transient ischemia.	Stroke (2008 Jun;39;1883-1889)	心臓血管外科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Fukui S.	Therapeutic effect of midkine on cardiac remodeling in infarcted rat hearts.	Ann Thorac Surg. (2008 Feb:85(2);562-570)	心臓血管外科
Yokota T.	In situ tissue regeneration using a novel tissue-engineered, small-caliber vascular graft without cell seeding.	J Thorac Cardiovasc Surg (2008 Oct:136(4);900-907)	心臓血管外科
Shimamura K.	Long-term results of the open stent-grafting technique for extended aortic arch disease.	J Thorac Cardiovasc Surg. (2008 Jun:135(6);1261-9.)	心臓血管外科
Imanishi Y.	Allogenic mesenchymal stem cell transplantation has a therapeutic effect in acute myocardial infarction in rats.	J Mol Cell Cardiol. (2008:44(4);666-671)	心臓血管外科
Yokoe T, et al.	Efficient identification of a novel cancer testis antigen as a candidate of cancer immunotherapy using three-step microarray analysis.	Cancer Res	消化器外科
Motoyama K, et al.	Clinical significance of high mobility group A2 in human gastric cancer and its relationship to let-7 microRNA family.	Clin Cancer Res	消化器外科
Mimori K, et al.	Hematogenous metastasis in gastric cancer requires isolated tumor cells and expression of vascular endothelial growth factor receptor-1	Clin Cancer Res	消化器外科
Ishii H, et al.	Fhit-deficient hematopoietic stem survive hydroquinone exposure precancerous changes.	Cancer Res	消化器外科
Ishii H, et al.	Cancer stem cells and chemoradiation resistance.	Cancer Science	消化器外科
Sakashita K, et al.	Clinical significance of loss of Fhl1 expression in human gastric cancer.	Ann Surg Oncol	消化器外科
Kita Y, et al.	Expression of uPAR mRNA in peripheral blood is a favourite marker for metastasis in gastric cancer cases.	Br J Cancer	消化器外科
Danno K, et al.	Diameter of splenic vein is a risk factor for portal or splenic vein thrombosis after laparoscopic splenectomy.	Surgery	消化器外科
Yokobori T, et al.	p53-altered FBXW7 expression determines poor prognosis in gastric cancer cases.	Cancer Res	消化器外科
Noda T, et al.	Activation of Wnt/beta-catenin signalling pathway induces chemoresistance to interferon-alpha/5-fluorouracil combination therapy for hepatocellular carcinoma.	Br J Cancer	消化器外科
Tanemura M. 他	In vitro and in vivo prevention of human CD8+ CTL-mediated xenocytotoxicity by pig c-FLIP expression in porcine endothelial cells.	Am J Transplant. 8(2)288-97, 2008	消化器外科
Tanemura M. 他	Pig cellular FLICE-like inhibitory protein (c-FLIP) overexpression in pig xenograft cells induces resistance to human CD8+ cytotoxic T lymphocyte-mediated xenocytotoxicity.	Transplant Proc. 40(2)559-63, 2008	消化器外科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Shimada K. 他	Regeneration of β -cells in the native pancreas after syngeneic and allogeneic pancreas transplantation in the spontaneously type 2 diabetic Torii rat.	Transplant Proc.40(2)438-440,2008	消化器外科
Shimada K. 他	Development of β -cells in the Native Pancreas after Pancreas Allo-transplantation in the Spontaneously Diabetic Torii Rat.	J Surg Res145(2), 229-237, 2008	消化器外科
Kawamoto K. 他	Prolonged survival of pig islets xenograft by adenovirus-mediated expression of either the membrane-bound human FasL or the human decoy Fas antigen gene	Xenotransplantation, 15(5), 333-343, 2008	消化器外科
Kawamoto K. 他	Adenoviral-mediated overexpression of either membrane-bound human FasL or human decoy Fas can prolong pig islet xenograft survival in a rat transplant model.	Transplant Proc. 40(2), 477-9,2008	消化器外科
Fumimoto Y. 他	Graft Duodenal Perforation due to Internal Hernia after Simultaneous Pancreas-Kidney Transplantation: Report of a Case	Case Reports in Gastroenterology, 2, 244-249, 2008	消化器外科
Ueda S. et al.	Cosmetic outcome and patient satisfaction after skin-sparing mastectomy for breast cancer with immediate reconstruction of the breast	Surgery	乳腺・内分泌外科
Shimazu K. et al.	Intraoperative frozen section analysis of sentinel lymph node in breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy	Ann Surg Oncol	乳腺・内分泌外科
Kotsuma Y et al.	Quantitative assessment of mammographic density and breast cancer risk for Japanese women	Breast	乳腺・内分泌外科
Kim S.J. et al.	Determination of the specific activity of CDK1 and CDK2 as a novel prognostic indicator for early breast cancer	Ann Oncol	乳腺・内分泌外科
Arai T. et al.	Association of GSTP1 expression with resistance to docetaxel and paclitaxel in human breast cancers	Eur J Surg Oncol	乳腺・内分泌外科
Akazawa K. et al.	Potential of reduction in total tumor volume measured with 3D-MRI as a prognostic factor for locally-advanced breast cancer patients treated with primary chemotherapy	Breast J	乳腺・内分泌外科
Fukuzawa M. 他	Prenatal detection of pulmonary hypoplasia in giant omphalocele.	Pediatr Surg Int (24:107-111, 2008)	小児外科
Fukuzawa M. 他	MYCN downregulates integrin α 1 to promote invasion of human neuroblastoma cells.	Int J Oncol (33:815-821,2008)	小児外科
Fukuzawa M. 他	Total laparoscopic excision of retroperitoneal ganglioneuroma using the hanging method and a vessel-sealing device.	J Laparoendosc Adv Surg Tech (18:779-782, 2008)	小児外科
Fukuzawa M. 他	Effect of blocking the chemokine receptors, CCR5 and CXCR3, with TAK-779 in a rat small intestinal transplantation model.	Transplantation (in press)	小児外科
Fukuzawa M. 他	Radiographic Changes in the Diaphragm after Repair of Congenital Diaphragmatic Hernia.	J Pediatr Surg (43:2156-2160, 2008)	小児外科
Fukuzawa M. 他	Dumbbell-shaped Ewing's sarcoma family of tumor of thoracic spine in a child.	Pediatric Surgery International (24(8): 953-5, 2008)	小児外科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Fukuzawa M. 他	Advantages of Video-assisted Thoracoscopic Surgery (VATS) in the Treatment of Paediatric Malignancies.	Pediatr Sueg Int (in press)	小児外科
Fukuzawa M. 他	Transgastric NOTES bowel exploration and biopsy:	Feasibility study in porcine model Pediatr Sueg Int : (in press)	小児外科
Sawa M	Fundus autofluorescence after full macular translocation surgery for myopic choroidal neovascularization.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.(2008 Aug;246(8):1087-95)	眼科
Sawa M	Abnormal fundus autofluorescence patterns in myopic choroidal neovascularisation.	Br J Ophthalmol. 2008 Sep;92(9):1236-40.	眼科
Yamamoto T	Increased retinal toxicity of intravitreal tissue plasminogen activator in a central retinal vein occlusion model.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. (246:509-514, 2008.)	眼科
Oshima Y	Novel mercury vapor illuminator combined with a 27/29-gauge chandelier light fiber for vitreous surgery.	Retina (2008;28:171-3.)	眼科
Wakabayashi T	Intravitreal bevacizumab to treat iris neovascularization and neovascular glaucoma secondary to ischemic retinal diseases in 41 consecutive cases.	Ophthalmology(2008;115:1571-80.)	眼科
Inoue T	Chandelier illumination to complete Descemet stripping through severe hazy cornea during Descemet-stripping automated endothelial keratoplasty.	J Cataract Refract Surg (2008;34:892-6.)	眼科
Sato T	Analyses of Cutting and Aspirating Properties of Vitreous Cutters with High-speed Camera.	Retina (2008; 28:749-754.5.)	眼科
Murakami Y	Diagnostic and Therapeutic Challenges. Adverse Vision-threatening Complication after Intravitreal Injection of Bevacizumab for Severe Proliferative Diabetic Retinopathy.	Retina (2008; 28: 1357-1360.)	眼科
Kusaka S	Efficacy of Intravitreal Injection of Bevacizumab for Severe Retinopathy of Prematurity: A Pilot Study.	Br J Ophthalmol (2008; 92: 1450-5.)	眼科
Shima C	Complications in patients after intravitreal injection of bevacizumab.	Acta Ophthalmol.(2008 Jun;86(4):372-6.)	眼科
Fang X	Efficacy and safety of one intravitreal injection of bevacizumab in diabetic macular oedema.	Acta Ophthalmol.(2008 Nov;86(7):800-5.)	眼科
Tomoya Nakagawa	Corneal ablation with new 193nm solid-state laser Preliminary experiments.	J Cataract Refract Surg.(34:1019-1023, 2008)	眼科
Yuichi Hori	Bacteriologic profile of the conjunctiva in the patients with dry eye.	Am J Ophthalmol.(146: 729-734, 2008.)	眼科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Yoshinori Oie	Characteristics of ocular higher-order aberrations in patients with pellucid marginal corneal degeneration	J Cataract Refract Surg. (34:1928-1934, 2008.)	眼科
Komeima K, Usui S	Blockade of neuronal nitric oxide synthase cone cell death in a model of retinitis pigmentosa.	Free Radic Biol Med.(2008 Sep 15;45(6):905-12.)	眼科
Lu L, Oveson ,Usui S	Increased Expression of Glutathione Peroxidase 4 Strongly Protects Retina from Oxidative Damage.	Antioxid Redox Signal. (2008 Sep 29.)	眼科
三木篤也	Efficacy of intravitreal bevacizumab as adjunctive treatment with pars plana vitrectomy, endolaser photocoagulation, and trabeculectomy for neovascular glaucoma.	British Journal of Ophthalmology (2008年10月、92巻10号)	眼科
Bessho K	Photoreceptor images of normal eyes and of eyes with macular dystrophy obtained in vivo with an adaptive optics fundus camera	J J OPHTHALMOL (2008: 52;380-385)	眼科
Sato T	Induction of fibroblast growth factor-2 by electrical stimulation in cultured retinal Mueller cells	Neuroreport.(2008;19:1617-21)	眼科
Sato T	Direct Effect of Electrical Stimulation on Induction of Brain-derived Neurotrophic Factor from Cultured Retinal Mueller Cells	Invest Ophthalmol Vis Sci. (2008;49:4641-6.)	眼科
Okazaki Y, Morimoto T	Parameters of optic nerve electrical stimulation affecting neuroprotection of axotomized retinal ganglion cells in adult rats	Neurosci Res .2008;61:129-35.	眼科
Wakabayashi T	Marked vascular changes of polypoidal choroidal vasculopathy after photodynamic therapy.	Br J Ophthalmol. (2008;92:936-40.)	眼科
Fujimoto H	Morphologic changes in acute central serous chorioretinopathy evaluated by fourier-domain optical coherence tomography.	Ophthalmology. (2008;115:1494-500.)	眼科
Gomi F	One-year outcomes of photodynamic therapy in age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy in Japanese patients.	Ophthalmology. (2008;115:141-6.)	眼科
Gomi F	Efficacy of intravitreal bevacizumab for polypoidal choroidal vasculopathy.	Br J Ophthalmol. (2008 ;92:70-3.)	眼科
Wakabayashi T	Pigment epithelial changes with abnormal fundus autofluorescence after photodynamic therapy for idiopathic choroidal neovascularization.	Jpn J Ophthalmol. 2008 ;52:138-9.	眼科
Mashimo H	Neutrophil chemotaxis and local expression of interleukin-10 in the tolerance of endotoxin-induced uveitis.	Invest Ophthalmol Vis Sci. (49:5450 2008)	眼科
Nakai K	Dendritic cells augment choroidal neovascularization	Invest Ophthalmol Vis Sci. (49: 3666 2008)	眼科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Fainaru O,Nakai K	Dendritic cells support angiogenesis and promote lesion growth in a murine model of endometriosis.	FASEB J. (22: 522-9 2008)	眼科
Inohara H	The role of fine-needle aspiration cytology and magnetic resonance imaging in the management of parotid mass lesions.	Acta Otolaryngol. 128: 1152-1158, 2008.	耳鼻咽喉科
Inohara H	Cytoplasmic and serum galectin-3 in diagnosis of thyroid malignancies.	Biochem Biophys Res Commun. 376:605-610, 2008.	耳鼻咽喉科
Kitahara T	Effects of endolymphatic sac drainage with steroids for intractable Meniere's disease: A long-term follow-up and randomized controlled study	Laryngoscope 118: 854-861, 2008	耳鼻咽喉科
Kitahara T	Meniere's attacks occur in the inner ear with excessive vasopressin type-2 receptors	J Neuroendocrinol. 20: 1295-1300, 2008	耳鼻咽喉科
Imai T	Changes in slow phase eye velocity and time constant of positional nystagmus at transform from cupulolithiasis to canalolithiasis.	Acta Otolaryngol. 128: 22-28, 2008	耳鼻咽喉科
Imai T	Differential diagnosis of true and pseudo-bilateral benign positional nystagmus.	Acta Otolaryngol. 128: 151-158, 2008	耳鼻咽喉科
Enomoto K	Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma studied with FDG-PET: a comparison with CT and endoscopic findings.	Ann Nucl Med. 22: 261-267, 2008.	耳鼻咽喉科
Enomoto K	FDG PET imaging of myxofibrosarcoma on the sphenoid sinus.	Clin Nucl Med. 33: 421-422, 2008.	耳鼻咽喉科
Enomoto K	Prognostic value of FDG-PET in patients with oropharyngeal carcinoma treated with concurrent chemoradiotherapy.	Mol Imaging Biol. 10: 224-229, 2008.	耳鼻咽喉科
西池季隆	前頭洞パンチを使用したendoscopic modified Lothrop procedure.	日鼻誌 (2008 Dec; 34: 540-543)	耳鼻咽喉科
西池季隆	Endoscopic modified Lothrop procedure後のTチューブ留置術	頭頸部外科(2008 Oct; 18: 135-142)	耳鼻咽喉科
西池季隆	顕微鏡を使用した耳下腺良性腫瘍手術	頭頸部外科 (2008 Feb; 18: 251-257)	耳鼻咽喉科
喜井正士	上頸部に転移を認めた原発不明癌症例の治療成績	日本耳鼻咽喉科学会報 (111:734-738, 2008)	耳鼻咽喉科
中村 憲正	Comparison of human serum with fetal bovine serum for expansion and differentiation of human synovial MSC -Potential feasibility for clinical applications	Cell Transplant 2008年17巻5号	整形外科
中村憲正	Update on Tissue Engineering : Bone and Cartilage. Articular cartilage regeneration using stem cells.	Clin Calcium 2008年18巻12号	整形外科
坂井 孝司	Extent of osteonecrosis on MRI predicts humeral head collapse	Clin Orthop 2008年466巻5号	整形外科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
中村憲正	Compressive properties of cartilage-like tissues repaired in vivo with scaffold-free, tissue engineered constructs	Clinical Biomechanics 2008年24巻	整形外科
花之内 健仁	CT-based planning of a single-radius femoral component in total knee arthroplasty using the ROBODOC system.	Computer Aided Surgery 2008年13巻1号	整形外科
吉川 秀樹	Angiotensin II accelerates osteoporosis by activating osteoclasts	FASEB Journal 2008年22巻	整形外科
中村憲正	PI3K/Akt signaling as a key regulatory pathway for chondrocyte terminal differentiation	Genes Cells 2008年13巻8号	整形外科
玉城 雅史	In Vivo Kinematic Analysis of a High-Flexion Posterior Stabilized Fixed-Bearing Knee Prosthesis in Deep Knee-Bending Motion	J Arthroplasty 2008年23巻6号	整形外科
岩井 貴男	Smad7 Inhibits chondrocyte differentiation at multiple steps during endochondral bone formation and down-regulates p38 MAPK pathways	J Biol Chem 2008年283巻40号	整形外科
妻木 範行	Insulation of the Ubiquitous Rxb Promoter from the Cartilage-specific Adjacent Gene, col11a2	J Biol Chem 2008年283巻	整形外科
村瀬 剛	Three-dimensional corrective osteotomy of malunited fractures of the upper extremity with use of a computer simulation system.	J Bone Joint Surg Am 2008年90巻11号	整形外科
平尾 眞	Response of serum carboxylated and undercarboxylated osteocalcin to alendronate monotherapy and combined therapy with vitamin K2 in postmenopausal women.	J Bone Miner Metab. 2008年26巻3号	整形外科
有光 小百合	Analysis of radiocarpal and midcarpal motion in stable and unstable rheumatoid wrists using 3-D computed tomography.	J Hand Surg (Am) 2008年33巻2号	整形外科
森友 寿夫	Change in the length of the ulnocarpal ligaments during radiocarpal motion: possible impact on triangular fibrocartilage complex foveal tears	J Hand Surg (Am) 2008年33巻8号	整形外科
森友 寿夫	Relationship between the fracture location and the kinematic pattern in scaphoid nonunion	J Hand Surg (Am) 2008年33巻9号	整形外科
西井 孝	Change in knee cartilage T2 in response to mechanical loading	J Magn Reson Imaging 2008年28巻1号	整形外科
坂浦 博伸	Preservation of the nuchal ligament plays an important role in preventing unfavorable radiologic changes after laminoplasty	Journal of Spinal Disorder & Techniques 2008年21巻5号	整形外科
中村憲正	Assessment of the "functional length" of the three bundles of the anterior cruciate ligament	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 2008年16巻2号	整形外科
中村憲正	The location-specific healing response of damaged articular cartilage after ACL reconstruction: short-term follow-up	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 2008年16巻9号	整形外科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
南平 昭豪	Characteristics of fracture and related factors in patients with rheumatoid arthritis	Mod Rheumatol 2008年18巻2号	整形外科
轉法輪 光	Interleukin-1 beta promotes sensory nerve regeneration after sciatic nerve injury.	Neurosci Lett 2008年440巻2号	整形外科
竹中 聡	Prognostic implication of SYT-SSX fusion type in synovial sarcoma: A multi-institutional retrospective analysis in Japan	Oncology Reports 2008年19巻2号	整形外科
西井 孝	Evaluation of cartilage matrix disorders by T2 relaxation time in patients with hip dysplasia	Osteoarthritis Cartilage 2008年16巻2号	整形外科
中村 憲正	Load-independent frictional properties of a cartilage-like tissue repaired with a scaffold-free tissue engineered construct (TEC) bio-synthesized from synovium-derived mesenchymal stem cells	Proceedings of the 54th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2008年582巻	整形外科
岩崎幹季	Surgical results and related factors for ossification of posterior longitudinal ligament of the thoracic spine: a multi-institutional retrospective study	Spine 2008年33巻	整形外科
安藤 渉	In vitro generation of a scaffold-free tissue-engineered construct (TEC) derived from human synovial mesenchymal stem cells: biological and mechanical properties and further chondrogenic potential.	Tissue Eng Part A. 2008年14巻12号	整形外科
富田興一	Esthetic outcome of immediate reconstruction with latissimus dorsi myocutaneous flap after breast-conservative surgery and skin-sparing mastectomy	Ann Plast Surg 61(1):19-23,2008	形成外科
松田健	A new model of end-to-side nerve graft for multiple branch reconstruction:	J Plast Reconstr Aesthet Surg 61(11):1357- 67,2008	形成外科
Kenichi Todo	Granulocyte-Macrophage Colony-Stimulating Factor Enhances Leptomeningeal Collateral Growth Induced by Common Carotid Artery Occlusion	Stroke2008,vol.39 ,no.6	神経内科・脳卒中科
Hiroshi Yamagami	Statin therapy Increases carotid plaque echogenicity in hypercholesterolemic patients.	Ultrasound in Medicine and Biology2008,vol.2 4,no.9	神経内科・脳卒中科
Makiko Tanaka	Chronic Middle Cerebral Artery Occlusion:A Hemodynamic and Metabolic Study with Positron-Emission Tomography	American journal of neuroradiology20 08,vol.29,no.10	神経内科・脳卒中科
北川 一夫	神経細胞死研究の成果と臨床応用	脳卒中2008:30巻 6号	神経内科・脳卒中科
M.Nakamori	Aberrant spliced @-dystrobrevin alters @-syntrophin binding in myotonic dystrophy type1	Neurology(2008:1 1)	神経内科・脳卒中科
Saburo Sakoda	Difficulty identifying spinocerebellar ataxia 17 from preceding psychiatric symptoms	Psychiatry and Clinical Neurosciences(20 08:62)	神経内科・脳卒中科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Shigetaka Furukado	Cyclooxygenase-2 -765G>C Promoter Variants are Associated with Lower Carotid Plaque Echogenicity in Japanese	Cerebrovascular Diseases(2008:27, 1)	神経内科・脳卒中科
別宮 豪一	奇異性脳塞栓症を生じた遺伝性血管神経性浮腫の1例	脳卒中 (2008:30,4)	神経内科・脳卒中科
Masaki Eto	Journal of the Peripheral Nervous System	Pioglitazone promotes peripheral nerve remyelination after crush injury through CD36 upregulation(2008 :13)	神経内科・脳卒中科
Takashi Kudo 他	A molecular chaperone inducer protects neurons from ER stress	Cell Death Differ	精神医学教室
Kanta Yanagida 他	The 28-amino acid form of an APLP1-derived A β -like peptide is a surrogate marker for A β 42 production in the central nervous system.	EMBO Molecular Medicine	神経科・精神科
後藤哲	Diffusion tensor fiber tracking in patients with central post-stroke pain;correlation with efficacy of repetitive transcranial magnetic stimulation.	Pain (140:509-518,2008)	脳神経外科
細見晃一	Electrical stimulation of primary motor cortex within the central sulcus for intractable neuropathic pain.	Clin Neurophysiol(119: 993-1001,2008)	脳神経外科
岩月幸一	Transplantation of olfactory mucosa following spinal cord injury promotes recovery in rats.	Neuroreport(27:1 249-1252,2008)	脳神経外科
木下学	Fractional anisotropy and tumor cell density of the tumor core show positive correlation in diffusion tensor magnetic resonance imaging of malignant brain tumors.	Neuroimage(43:29 -35,2008)	脳神経外科
木下学	Use of fractional anisotropy for determination of the cut-off value in 11C-methionine positron emission tomography for glioma.	Neuroimage(45:31 2-318,2009)	脳神経外科
木下学	Immunohistochemical analysis of adhesion molecules and matrix metalloproteinases in malignant CNS lymphomas: a study comparing primary CNS malignant and CNS intravascular lymphomas.	Brain Tumor Pathol(25:73-78,2008)	脳神経外科
押野悟	Ipsilateral motor-related hyperactivity in patients with cerebral occlusive vascular disease.	Stroke (39:2769-2775,2008)	脳神経外科
柳澤琢史	Neural decoding using gyral and intrasulcal electrocorticograms.	Neuroimage(45:10 99-1106,2008)	脳神経外科
柳澤琢史	Mechanistic analysis of motor cortex stimulation for phantom limb pain.	Pain Research (23:27-34,2008)	脳神経外科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
柳澤琢史	Functional mapping in motor cortex of the patients with phantom limb pain.	Pain Research(24:31-36,2008)	脳神経外科
中江 文・萩平哲・柴田政彦・植田一吉	The role of RNA editing of the serotonin 2C receptor in a rat model of oro-facial neuropathic pain	Eur J Neurosci.	麻酔科
中江 文・萩平哲・高階雅紀・真下節	Serotonin2C receptor mRNA editing in neuropathic pain model.	Neurosci Res.	麻酔科
岩崎光生・林行雄・上林卓彦・真下節	The antiarrhythmic effect of centrally administered rilmenidine involves muscarinic receptors, protein kinase C and mitochondrial signalling pathways	British J of Pharmacology	麻酔科
Wanitpongpan T, et al.	Spatio-temporal image correlation (SITC) used by general obstetrician: is as effective as 2D fetal echocardiography scanned by experts	Perinatal Diagnosis 28:923-928, 2008	産科
Isobe S, et al.	Dual repressive effect of angiotensin II-type 1 receptor blocker telmisartan on angiotensin II-induced and estradiol-induced uterine leiomyoma cell proliferation	Human Reproduction 23:440-446, 2008	産科
Takeda T, et al.	Elevated level of plasma vascular endothelial growth factor after gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for leiomyomata	Gynecological Endocrinology 24:724-726, 2008	婦人科
Ueda Y, et al.	Clonality and HPV infection analysis of concurrent glandular-and-squamous lesions and adenosquamous carcinomas of the uterine cervix	American Journal of Clinical Pathology 130:389-400, 2008	婦人科
Takeda T, et al.	Effectiveness of the herbal medicine Daikenchuto for radiation-induced enteritis	The Journal of Alternative and Complementary Medicine 14:753-755, 2008	婦人科
Takeda T, et al.	Relationship between metabolic syndrome and uterine leiomyomata: a case-control study	Gynecol Obstet Invest 66:14-17, 2008	婦人科
Mabuchi S, et al.	Maintenance treatment with bevacizumab prolongs survival in an in vivo ovarian cancer model	Clinical Cancer Research 14:7781-7789, 2008	婦人科
Ugaki H, et al.	Safety and efficacy of lower dose unfractionated heparin for prophylaxis of deep vein thrombosis and pulmonary embolism in an asian population	Blood Coagulation & Fibrinolysis 19:585-589, 2008	婦人科
柳原恵子, 永井利三郎	乳幼児期発症のてんかん性脳症を呈するグルコース輸送担体1異常症(Glut-1異常症)における診断及び臨床的研究	てんかん治療研究振興財団研究年報 (19:95-98, 2008)	小児科
青天目信, 下野九理子	対側病変を有する左半球広範性皮質形成異常に伴った難治性West症候群のてんかん外科治療	大阪てんかん研究会雑誌 (19:45-55, 2008)	小児科
Kubota T	Lrp6 hypomorphic mutation affects bone mass through bone resorption in mice and impairs interaction with Mesd.	J Bone Miner Res (23(10):1661-1671, 2008)	小児科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Endo I, Ozono K	Clinical usefulness of measurement of fibroblast growth factor 23 (FGF23) in hypophosphatemic patients: proposal of diagnostic criteria using FGF23 measurement.	Bone (42(6):1235-1239, 2008)	小児科
Tokimsa S, Ohta H	Umbilical cord-blood transplantations from unrelated donors in patients with inherited metabolic diseases: Single-institute experience.	Pediatr Transplant (12(6):672-676, 2008)	小児科
Ohata Y, Ohta H	Intermittent oral trimethoprim/sulfamethoxazole on two non-consecutive days per week is effective as Pneumocystis jiroveci pneumonia prophylaxis in pediatric patients receiving chemotherapy or hematopoietic stem cell transplantation.	Pediatr Blood Cancer (52(1):142-144, 2009)	小児科
Ohta H	WT1 (Wilms tumor 1) peptide immunotherapy for childhood rhabdomyosarcoma: a case report.	Pediatr Hematol Oncol (26(1):74-83, 2009)	小児科
Okada S, Kato-Nishimura K	Examination of non-restrictive and non-invasive sleep evaluation technique for children using difference images.	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc (1:3483-3487, 2008)	小児科
Fujita N,	Optimum voxel volume for maximizing contrast-to-noise ratio in BOLD functional MRI.	The Open Magnetic Resonance Journal. (1: 54-59, 2008)	放射線診断科
Daimon T,	Acute eosinophilic pneumonia: Thin-section CT findings in 29 patients.	Eur J Radiol. (65(3): 462-467, 2008)	放射線診断科
Sumikawa H,	Computed Tomography Findings in Pathological Usual Interstitial Pneumonia: Relationship to Survival.	Am J Respir Crit Care Med. (177(4): 433-439, 2008)	放射線診断科
Sumikawa H,	Pulmonary Adenocarcinoma with Ground-glass Attenuation on Thin-section CT: Quantification by Three-dimensional Image Analyzing Method.	Eur J Radiol. (65(1): 104-11, 2008)	放射線診断科
Higashihara H,	Differential diagnosis between metastatic tumors and nonsolid benign lesions of the liver using ferucarbotran-enhanced MR imaging.	Eur J Radiol. (2008 Nov 17: [Epub ahead of print])	放射線診断科
Maeda N,	Angiographic evaluation of hepatic arterial damage after transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma.	Radiation Medicine. (26(4): 206-212, 2008)	放射線診断科
Osuga K,	Bland Embolization of hepatocellular carcinoma using superabsorbent polymer microspheres.	Cardiovasc Intervent Radiol. (31: 1108-1116, 2008)	放射線診断科
Tsuboyama T,	T2*-sensitized high-resolution magnetic resonance venography using 3D-PRESTO technique.	Magn Reson Med Sci. (7: 73-77, 2008)	放射線診断科
Suzuki O et al	Effect of high-dose-rate ¹⁹² Ir source activity on late rectal bleeding after intracavitary radiation therapy for uterine cervix cancer.	Int J Radiat Oncol Biol Phys (71: 1329-1334, 2008)	放射線治療科

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Isobashi F et al	Insulin-like growth factor stimulation increases radiosensitivity of a pancreatic cancer cell line through endoplasmic reticulum stress under hypoxic conditions.	Cancer Sci (99: 2395-2401, 2008)	放射線治療科
Sumida I et al	Verification of air-kerma strength 125I seed for permanent prostate implants in Japan.	Int J Clin Oncol (in press)	放射線治療科
前田育宏	Increased expression levels of tensin3 mRNA in thyroid functional adenomas as compared to non-functioning adenomas.	Exp Clin Endocrinol Diabetes	臨床検査部
高野 徹	Preparation of thyroid tumor cells in aspiration biopsies for aspiration biopsy-nucleic acid diagnosis.	Head & Neck	臨床検査部
高野 徹	BRAF mutation in papillary thyroid carcinoma in a Japanese population: Its lack of correlation with high-risk clinicopathological features and disease-free survival of patients.	Endocr J	臨床検査部
日高国幸	血管分岐部における血管塞栓物質の注入間隔と注入位置が塞栓物質の分配に及ぼす影響-計算力学シミュレーションによる考察-	生体医工学 Vol.46, No.6 (2008),	放射線部
井口直也	Rhabdomyolysis induced by Pseudomonas aeruginosa sepsis	Journal of Anesthesia	集中治療部
萩平哲・高階雅紀・真下節	Application of a Newly Designed Right-sided, Double-lumen Endobronchial Tube in Patients with a Very Short Right Mainstem Bronchus	Anesthesiology	集中治療部
藤野 裕士・内山 昭則・平尾 収・真下 節	濾過型人工腎臓用補液使用時の回路内結晶析出について	日本集中治療医学会雑誌	集中治療部
萩平 哲	本邦におけるレミフェンタニルの使用状況	臨床麻酔	集中治療部
青笹 克之	Nasal NK/T-cell lymphoma: Epidemiology and pathogenesis.	Int J Hematol (87:110-117,2008.)	病理部
青笹 克之	Clinicopathologic factors influencing postoperative prognosis in patients with small-sized adenocarcinoma of the lung.	J Thorac Cardiovasc Surg (135:830-836, 2008.)	病理部
青笹 克之	Phase II clinical trial of WT1(Wilms tumor gene) peptide vaccination for patients with recurrent glioblastoma.	J Neurosurg (108:963-971,2008.)	病理部
青笹 克之	Prognostic significance of CD55 expression in breast cancer.	Clin Cancer Res (14:4780-4786,2008.)	病理部
青笹 克之	The role of fine needle aspiration cytology and magnetic resonance imaging in the management of paratoid mass lesions.	Acta Otolaryngol (128:1152-1158,2008.)	病理部
青笹 克之	Recovery from established graft-versus-host disease achieved by bone marrow transplantation from a third-party allogeneic donor.	Exp Hematol (36:1216-1225,2008.)	病理部

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
青笹 克之	Thymoma-associated graft-versus-like erythroderma.	J Thorac Oncol (2:1130-1132,2007.)	病理部
青笹 克之	E74-like factor 2 transactivates valosin-containing protein gene, a gene involved in cancer growth.	Exp Mol Pathol (84:226-229,2008.)	病理部
青笹 克之	Intravascular lymphomatosis of NK-cell type.	Eur J Hematol. (81:1-7,2008.)	病理部
青笹 克之	Malignant lymphomas in Waldeyer's ring among Asian countries:histologic types and Epstein-Barr virus association.	Mol Med Rep (1:651-655,2008.)	病理部
青笹 克之	Involvement of the lysophosphatidic-acid generating enzyme autotaxin in lymphocyte-endothelial cell interactions.	Am J Pathol (173:1566-1576,2008.)	病理部
青笹 克之	Cancer stem cells	An overview.	病理部
青笹 克之	DLBCL associated with chronic inflammation. WHO Classification of Tumours of Haematopoietic and Lymphoid Tissues.	IARC Press, Lyon.(245-246,2008.)	病理部
青笹 克之	Latent membrane protein 1 of Epstein-Barr virus induces expression of B-cell integration cluster, a precursor form of micro RNA-155, in B lymphoma cell lines.	BBRC (377:579-583,2008.)	病理部
富山佳昭	特発性血小板減少性紫斑病	臨床血液 49:14-21, 2008	輸血部
Kentaro Shimizu	Lethal aortic injury caused by a rugby tackle	Am J Sports Med 36(8):1611-1614, 2008	高度救命救急センター
Yuka Sumi	Non-operative, catheter management for cervical necrotizing fasciitis with and without descending necrotizing mediastinitis.	Archives of Otolaryngology-Head&Neck Surgery 134(7):750-756, 2008	高度救命救急センター
Osamu Tasaki	Prognostic indicators and outcome prediction model for severe traumatic brain injury	J Trauma 66(2):304-308, 2009	高度救命救急センター
田崎 修	鈍的頭頸部血管損傷に対する3DCTAによるスクリーニングの有用性と問題点	日本救急医学会誌20(2):84-92, 2009	高度救命救急センター
清水 健太郎	Lethal triadに陥った外傷出血症例に対する遺伝子組み換え活性型血液凝固第VII因子製剤(ノボセブン)投与の有効性	日本救急医学会誌20(3):133-141, 2009	高度救命救急センター
Sawa Y 他	Journal of Artificial Organs 2007: the year in review.	1: J Artif Organs.	未来医療センター
澤 芳樹	重症心不全に対する細胞治療の現状と展望.	総合臨床	未来医療センター
澤 芳樹	重症心不全に対する心筋再生治療.	呼吸と循環	未来医療センター

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
澤 芳樹	虚血性心筋症に対する細胞治療の現状と展望.	日本臨床	未来医療センター
澤 芳樹	心臓再生治療の現状と展望.	治療学	未来医療センター
澤 芳樹	重症心不全に対する心筋再生医療.	診療と新薬	未来医療センター
澤 芳樹 他	心臓移植 循環器疾患.	最新の治療	未来医療センター
澤 芳樹 他	骨格筋筋芽細胞による心筋再生治療	冠疾患誌	未来医療センター
Myoui A 他	Regenerative medicine in bone tumor surgery.	Clin Calcium	未来医療センター
Lee C 他	Molecular targeting of CD44 for Mesothelioma.	Proceeding of International Congress of Neutron Capture Therapy	未来医療センター
Daimon T	Predictive checking for Bayesian interim analyses in clinical trials.	Contemporary Clinical Trials	未来医療センター
Daimon T 他	A note on parameterizations in pharmacokinetic compartment models.	Behaviormetrika	未来医療センター
Daimon T 他	The mean squared error optimum design criterion for parameter estimation in nonlinear regression models.	Communications in Statistics, Theory & Methods	未来医療センター
Daimon T	Bayesian sample size calculations for a non-inferiority test of two proportions in clinical trials.	Contemporary Clinical Trials	未来医療センター
大門 貴志 他	薬物動態の統計数理.	(株) MPC.	未来医療センター
大門 貴志	生物統計学,創薬育薬医療スタッフのための臨床試験テキストブック (中野重行監修, 山田浩, 小林真一, 井部俊子編集)	メディカル・パブリケーションズ	未来医療センター
Saito A 他	Allogenic mesenchymal stem cell transplantation has a therapeutic effect in acute myocardial infarction in rats.	J Mol Cell Cardiol.	未来医療センター
Saito A 他	Quantitative estimates of vascularity in a collagen-based cell scaffold containing basic fibroblast growth factor by noninvasive near-infrared spectroscopy for regenerative medicine.	Photomed Laser Surg.	未来医療センター
Tanaka H 他	Evaluation of cartilage matrix disorders by T2 relaxation time in patients with hip dysplasia.	Osteoarthritis Cartilage	未来医療センター

発表者氏名	題名	雑誌名	所属部門
Tanaka H 他	Interleukin-1 beta promotes sensory nerve regeneration after sciatic nerve injury.	Neurosci Lett	未来医療センター
Tanaka H 他	IL-1beta promotes neurite outgrowth by deactivating RhoA via p38 MAPK pathway.	Biochem Biophys Res Commun	未来医療センター
田中 啓之 他	Methylcobalaminはmethionine synthaseを介してErk1/2、Aktを活性化し、神経軸索伸長と生存を促進する。	Peripheral Nerve.	未来医療センター
Miyazaki M 他	et al. Impaired cytokine response in myeloid dendritic cells in chronic hepatitis C virus infection regardless of enhanced expression of Toll-like receptors and retinoic acid inducible gene-1.	J Med Virol	未来医療センター
川田 純司	同時性三重複癌を認めた進行肝細胞癌の1例。	癌と化学療法	未来医療センター
山本陵平	Early plasma exchange for progressive liver failure in recipients of adult-to-adult living-related liver transplants.	Blood Purif. (2009;28(1):40-6.)	血液浄化部
北村温美	Nonerythropoietic derivative of erythropoietin protects against tubulointerstitial injury in a unilateral ureteral obstruction model.	Nephrol Dial Transplant. (2008;23(5):1521-8.)	血液浄化部
國府 力	A transposon-based chromosomal engineering method to survey a large cis-regulatory landscape in mice.	Nature Genetics 巻(号): 41(8) ページ:946-952 発行年:2009	遺伝子診療部
松村菜津子 他	安全装置付きヒューバー針“Huber Plus”の在宅化学療法への導入の試み	癌と化学療法(35巻3号、p539-541,2008年	化学療法部
田墨恵子 他	安全装置付きポート針“Huber Plus”の使用経験	癌と化学療法 35巻1号(2008) p.105-108	化学療法部
Masako Oishi	Pharmacokinetic Behavior of Intravitreal Triamcinolone Acetonide Prepared by a Hospital pharmacy	Jpn.J.Ophthalmol. (2008,52,489-492)	薬剤部
上田幹子	入院・外来共通のがん化学療法 プロトコル管理システムの構築と運用	医療薬学 (2008,34,4,386-393)	薬剤部
日高国幸	血管分岐部における血管塞栓物質の注入間隔と注入位置が塞栓物質の分配に及ぼす影響-計算力学シミュレーションによる考察-	生体医工学 Vol.46, No.6 (2008),	医療技術部

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 林 紀夫
管理担当者氏名	総務課長 東 善和 医事課長 恒吉 祐治 薬剤部長 黒川 信夫 放射線部長 畑澤 順

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌 検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 処方せん 手術記録 看護記録 エックス線写真 各科診療日誌	総務課 医事課 薬剤部 手術部 看護部 放射線部 各診療科	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に 1 患者 1 入院 1 カルテ方式とし、コンピュータによる集中管理を行っている。 エックス線写真は、放射線部で集中保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	総務課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 薬剤部
掲規 げ則 る第 9 条 確 保 の 3 状 況 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	中央クオリティマネジメント部
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	中央クオリティマネジメント部
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	中央クオリティマネジメント部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務課長 東 善和
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 田中忠美
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	20,518人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,675人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	609人	
	D: 初診の患者の数	27,952人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (6 名) ・ 無								
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5 名) ・ 無								
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (7) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントの調査・分析・レポート管理 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネジャー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネジャー支援 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 医療事故後の患者及び家族等への対応支援等 									
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無								
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 医療安全情報の共有 9. 職員に対する教育研修 10. 医療安全文化の構築 11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 12. 医療安全管理に関する指針の公開 									
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 3 3 回								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">統括医療安全管理委員会： 本院における医療に係る安全管理について統括する</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">年 1 1 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">リスクマネジメント委員会： 医療事故の防止策を策定する</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">年 6 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療クオリティマネジメント委員会： 医療クオリティの向上を図る</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">年 1 6 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療事故対策委員会： 医療事故が発生した場合の必要な対応を行う</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">年 0 回</td> </tr> </table> 		統括医療安全管理委員会： 本院における医療に係る安全管理について統括する	年 1 1 回	リスクマネジメント委員会： 医療事故の防止策を策定する	年 6 回	医療クオリティマネジメント委員会： 医療クオリティの向上を図る	年 1 6 回	医療事故対策委員会： 医療事故が発生した場合の必要な対応を行う	年 0 回
統括医療安全管理委員会： 本院における医療に係る安全管理について統括する	年 1 1 回								
リスクマネジメント委員会： 医療事故の防止策を策定する	年 6 回								
医療クオリティマネジメント委員会： 医療クオリティの向上を図る	年 1 6 回								
医療事故対策委員会： 医療事故が発生した場合の必要な対応を行う	年 0 回								

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第1回： ・患者と診療行為との照合の実際 ・CPRコールの運用について</p> <p>第2回： ・薬剤アレルギーについて ・抗菌薬の初回投与について</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>①「注射・点滴の準備・作成・実施の手順」「注射実施・検査・処置に関する患者確認」「医療事故防止のための院内マニュアル第3版の周知状況」の調査、及び「正しい方法での患者確認」と「投与直前の注射指示・実施記録票での確認」の周知</p> <p>②自主回収対象の手動式人工蘇生器を回収、及びジャクソンリース所有状況の調査依頼、代替品の支給の手配</p> <p>③輸血実施時の観察及び副作用の診療記録への記載統一</p> <p>④造影剤アナフィラキシーショック時の対応</p> <p>⑤造影剤副作用報告システム構築</p> <p>⑥小児の術前飲水の取り決め</p> <p>⑦CPR コール事例の分析と検証</p> <p>⑧EラーニングにおけるLVADに関する設問の作成</p>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>安全な医療の実現のためには院内感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員の一人ひとりが、また各部局それぞれが、院内感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に院内感染対策を行なっていくものとする。このような院内感染対策をとおして、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することができる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献することが大阪大学医学部附属病院の使命である。</p> <p>院内感染対策の対象は、患者および家族、職員、学生（研究生、大学院生、医学科学生、保健学科学生）、ボランティア、委託業者（給食、清掃、廃棄物など）など病院に出入りする人は全員である。</p> <p>院内感染対策の主な内容は①職員への教育・啓発活動、②サーベイランス、③コンサルテーション、④職業感染対策、⑤アウトブレイク時の院内体制の確立、⑥マニュアルの編纂、⑦院内環境の整備、⑧地域連携、⑨院外への情報公開、である。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 2 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>①院内感染対策委員会：院内感染対策についての審議（感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設基準に関すること）</p> <p>②ICT企画委員会：感染制御部の活動を円滑に企画・運営するために設置</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員（年3回実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザについて ・ 耐性菌について ・ 注射用抗菌薬の動向 ・ MRSAについて ・ 1年間のまとめ <p>各部署、対象者別では適宜部署にて実施（各部署、外注業者など）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （☑・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 院内感染サーベイランス（耐性菌、デバイス関連感染） ② サーベイランスデータに基づく介入 ③ 感染症治療コンサルテーション ④ 感染防止対策コンサルテーション ⑤ リンクドクター、感染管理リンクナースの活用 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>年間 4 回、医薬品及び医療機器の安全使用をテーマに、研修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器・医薬品安全講習会：平成 21 年 5 月・9 月、平成 22 年 2 月に開催（年 3 回） ・ 医薬品安全管理講習会：平成 21 年 11 月に開催（年 1 回） <p>（平成 21 年 5 月 13 日に開催した医療機器・医薬品安全講習会の内容は、「麻薬の事故事例」「病棟での注射剤混合の注意点」であった）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （☑・無） ・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書のオンライン収載 ・ 適正な医薬品管理およびその手順の徹底、医薬品情報の発信など 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （☑・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 副作用入力方法の周知 ・ 病院運営委員会において、副作用発生状況を毎月報告 ・ 薬剤関連マニュアル（院内ホームページ）の年次更新（ハイリスク薬の取り扱い、配合変化など） ・ 入院内外用薬・注射薬の包装表示および混合調製用ラベルの改善等 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器安全講習会 ・ 阪大病院フォーラム（医療機器安全講習会） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定機能病院必須機器 5 品目の定期点検 ・ 中央管理機器の定期点検及び使用後点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> インシデント報告中にある医療機器に対する情報 	